

TUMSAT-OACIS Repository - Tokyo

University of Marine Science and Technology

(東京海洋大学)

「水産研究誌」掲載主要文献リストの作成にあたって

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-05-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 岩澤, 龍彦 メールアドレス: 所属:
URL	https://oacis.repo.nii.ac.jp/records/549

『水産研究誌』掲載 主要文献リストの作成にあたって

岩澤龍彦（13増大）

リスト作成の対象

「水産研究誌掲載主要文献リスト」には水産研究誌第1巻第11号（明治39年11月発行）から第41巻第1号（昭和26年12月発行）まで392巻に掲載された主要文献の表題と著者等を2082件収録した。

なお、第1巻（明治39年）第1～10号および同12号は残念ながら保存されていない。また、第27（昭和7年）～29（昭和9年）巻は休刊であった。また、昭和19年3月～昭和25年2月までは戦中・戦後の諸事情のため発行できなかった。

その他については、「水産研究誌の発行年月および発行巻号数」を参照されたい。

『水産研究誌』創刊と変遷

明治40（1907）年、水産講習所養殖部の同窓によって水産研究会が組織されて、『水産研究誌』を刊行（創刊は明治39年）した。『水産研究誌』はその後、昭和6年まで26年間に26巻、通巻約300号が発行された。

大正10（1921）年に農商務省の設立許可を受けて「社団法人楽水会」が足立した（それまでは「水産同窓会」と称していた）。このこともあり、『水産研究誌』を昭和7（1932）年1月号から『楽水会誌』という名称に改題した。これを機会に第27巻300号と巻号と通巻番号を『楽水会誌』に付している。

『水産研究誌』はその名のとおりに学術雑誌的な性

格が強い同窓会誌であったが、『楽水会誌』は学術雑誌的特徴をそのまま尊重してさらに水産を中心とした政治、経済、産業等の話題に触れ、かつ文芸や会員の消息、母校の近況等、会員に感心のある記事を幅広く掲載することになった。

昭和4（1929）年に水産講習所は、試験部および海洋調査部を新設された農林省水産試験場へ移管する等、水産に関する試験研究は分化発展を遂げ、昭和7年には日本水産学会が設立され、『日本水産学会誌』が発行されるようになった。なお、日本水産学会本部は水産講習所内に置かれた。また水産研究が盛んになってきたこともあり、楽水会の会誌の性格について議論がされてきた。

その結果、昭和10（1935）年に通巻342号（7月号）から『楽水誌』を「楽水」に改題するとともに、学術論文等は別途付録として復活した『水産研究誌』に掲載して刊行することになった。

このようにして、『水産研究誌』は昭和7～9年まで3年間のブランクが生じたが、昭和19年（第39巻）まで継続して刊行された。その後、戦中・戦後の諸事情による約6年間の発行中断の後、昭和25年と26年に第40巻、41巻で合計4号発行されたがその後は続くことがなかった。

『水産研究誌』掲載内容と意義

『水産研究誌』の内容について若干触れておきたい。第2巻の頃のカテゴリを見ると学芸、雑録、時事の三つに記事を区分しており、記事は縦書きである。第5巻からは論説、学芸、内外彙報、雑

録となった。第16巻からは論説、報文、抄録、雑録、となった。第17巻からは論説、報文、講座、抄録、雑録となった。

第30巻（昭和10年）からは、それまでの縦書きから横書きとなり、カテゴリは報文、資料、抄録、付録となり、それまでであった会報や会員消息がなくなり、表紙には水産研究誌と SUISAN KEN-KIU-SHI (Journal of Fisheries) と横文字で表記する等、学術雑誌の体裁が強まった。

最初の頃は学芸欄には当時の一流の学者による投稿が数本掲載されている他に、雑録欄には内外の膨大な情報が掲載されており、しかもこれが月刊で刊行されていたことから、執筆する学者達はもちろん、編集担当部門の熱意の高さが想像される。

『水産研究誌』に掲載されている論文の内容は現在では常識になっている事柄（以下の事例参照）だが、その頃に初めて遭遇したさまざまな苦難を大先輩達が観察・調査や実験を行い、一つ一つをクリアして積み重ねてきたことがわかる。『水産研究誌』は、いうなれば水産研究界の苦闘の証である。

● 3巻1号

鱒は果たして連年産卵する乎 越田 徳次郎

● 9巻11号

あさくさのりの胞子付着に就いて 関 晴雄

● 10巻12号

しらす鰻の成長度に就いて 徳久三種

● 11巻9号

日本海に於ける真鰻の移動に就いて 徳久三種 他

● 18巻7号

鮎卵の発生と稚仔飼育に就いて 小林彦四郎

● 20巻2号

泥鰌の養殖 日暮 忠

● 21巻1号

流水養鯉の使用水量と放養量 太田知度

● 21巻4号

鮑の成長と殻長重量との関係 福田亮三

● 21巻5号

冷凍せる魚体の冷凍中に於ける乾燥に就いて 茂貫祥次

● 22巻6号 蒲鉾の防腐性に就いて 東原正雄

● 25巻2号

鯛「ラーバ」飼育完成に就いて 梶山英二他

● 33巻9号

鮭鱒缶詰の総重量、真空度及び上部間隙に於ける各二者間の相関関係 大沼豊吉

● 36巻2号

筏式垂下養殖に於ける牡蛎の密度について 横田, 菅原

● 37巻9号

鯉及び鮒の年齢と体長体重との関係 松井 魁
前述のとおり、昭和7年に日本水産学会誌が創刊された後も『楽水誌』と並行して『水産研究誌』が発行された。水産研究誌には水産経営や水産技術等で日本水産学会誌には載らないものが掲載され存在感を示していた。『水産研究誌』の著者は水産試験場等で働く若い技術者が多く、日本水産学会誌に投稿する論文のたたき台のつもりで書いていたものがあったと言われる。

しかし、『水産研究誌』の掲載記事の著者には水産講習所の教授や教官はもちろん、府県の水産試験場、水産講習所や農商務省水産局の報告まであり、文字どおり産官学あげての水産情報メディアとして活用されていたことがわかる。

楽水342号（昭和10年7月）に寄稿された楽水会理事長高橋熊三著「楽水会誌改題並に水産研究誌発行について」によれば、＜水産研究誌は従来、唯一の月刊水産専門の雑誌として、相当の権威あり、久しく重視されていたものであります。＞となっている。

このように、約40年にわたって『水産研究誌』はその名のとおりのわが国の水産研究の中心的存在だったと思われる。

したがって、我々が水産学生の際にお世話になった教科書には引用文献として『水産研究誌』が数多く記載されているのは当然のことである。

また、我々を指導していただいた黒沼勝造、久保伊津男、妹尾次郎等の諸先生方の論文がたくさん見受けられ、恩師達の若かりし頃のご活躍ぶりが偲ばれるのである。

このように、言わば水産教科書の原材料になったような論文の原典である「水産研究誌」を遡って利用していただくお手伝いができれば幸甚である。

『水産研究誌』の発行年月および巻号数

巻	発行年数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	冊数計
1	明39・1906											1		1
2	40・1907	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
3	41・1908	(13)1	2	3	4・5	6	7	8		9	11	12	13	12 (13号)
4	42・1909	1			2	3	4	5		6	7		8	9
5	43・1910	(9)1		2	3		4	5	6	7	8	9		9
6	44・1911	1	2	3	4	5	6	7		8	9	10		10
7	45・1912	1	2	3	4	5	6	7						7
7	大1・1912								8	9	10	11	12	5
8	2・1913	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
9	3・1914	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
10	4・1915	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
11	5・1916	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
12	6・1917	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
13	7・1918	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
14	8・1919	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
15	9・1920	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
16	10・1921	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
17	11・1922	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
18	12・1923	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		11
19	13・1924	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
20	14・1925	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
21	15・1926	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
22	昭2・1927	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
23	3・1928	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
24	4・1929	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
25	5・1930	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
26	6・1931	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
27	7・1932													
28	8・1933													
29	9・1934													
30	10・1935							1	2	3	4	5	6	6
31	11・1936	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
32	12・1937	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
33	13・1938	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
34	14・1939	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
35	15・1940	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
36	16・1941	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
37	17・1942	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
38	18・1943	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	12
39	19・1944	1	2											2
	20・1945													
	21・1946													
	22・1947													
	23・1948													
	24・1949													
40	25・1950			1			2				3			3
41	26・1951											1		1
														391 (392号)

参考文献

編集委員会 (1977) 楽水会誌の変遷, 楽水700号,
 楽水会
 蜷川虎三 (1931) 水産研究誌に就いて, 水産研究

第26巻第7号, 楽水会
 高橋熊三 (1935) 楽水会誌改題並に水産研究誌発
 行について, 楽水342号, 楽水会

『水産研究誌』掲載主要文献リスト 目次一覧

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
0111	1906.11		日暮 忠	10養伝	Lachae に就いて
			日暮 忠	10養伝	魚病論
			藤田 経信	特	豊富なる栄養の魚類の成熟の關係に就いて
			藤田 経信	特	水産上より湖沼の研究を望む
			丸川 久俊	7 養	激動抑圧及び落下が鱒卵の孵化に及ぼす影響
			丸川 久俊	7 養	北米合衆国メエンに於ける Lobster の孵化事業
0201	1907.01		丸川 久俊	7 養	こぼんざめに就いて
		論説	丸川 久俊	7 養	新年之辞
		論説	妹尾 秀実	特	浮遊生物研究の急務
		学芸	日暮 忠	10養伝	独逸より本邦へ移植せし鯉
0202	1907.02	学芸	松尾 靈彦訳		魚肉の性質
		論説	日暮 忠	10養伝	水産養殖学に就いて
		学芸	鐘ヶ江 東作	9 養	稲田養鯉法
		学芸	妹尾 秀実	特	牡蠣の内に含有する「グリーコーゲン」
		学芸	松尾 靈彦訳		魚肉の性質 (承前)
		学芸	越田 徳次郎	6 養	鱒池中養殖の現況
0203	1907.03	論説	妹尾 秀実	特	大に牡蠣の輸出を計るべし
		学芸	鐘ヶ江 東作	9 養	稲田養鯉法 (承前)
		学芸	日暮 忠	10養伝	金魚の虱と其の駆除法
		学芸	日暮 忠	10養伝	魚の寒冒とその予防法
		学芸	松尾 靈彦		魚肉の性質 (承前)
		学芸	越田 徳次郎	6 養	良質の肝油を有する鱈の種類
0204	1907.04	論説	丸川 久俊	7 養	勃興せし水産業
		学芸	日暮 忠訳	10養伝	池中養殖の学術及び実用的研究
		学芸	丸川 久俊	7 養	浮遊生物学に就いて
		学芸	越田 徳次郎	6 養	魚類年齢計算法
		学芸	越田 徳次郎	6 養	魚類の瓦斯病
0205	1907.05	論説	下 啓介		水産養殖の奨励に就いて
		論説	妹尾 秀実	特	海流の調査に就いて
		学芸	日暮 忠	10養伝	池中養殖の学術及実用的研究 (承前)
		学芸	山本 由一	6 養	鯉の成長並年齢に就いて
		学芸	越田 徳次郎	6 養	魚類の瓦斯病 (承前)
0206	1907.06	論説	越田 徳次郎	6 養	沿岸漁業の意義
		学芸	日暮 忠	10養伝	池中養殖の学術及実用的研究 (承前)
		学芸	丸川 久俊	7 養	微小生物の出現による水色
		学芸	山本 由一	6 養	鯉の年齢及生長に就いて
0207	1907.07	論説	松原 新之助		水産研究誌
		学芸	越田 徳次郎	6 養	鮭の成長及標識魚の洄帰について
		学芸	妹尾 秀実	特	仏蘭のクレール
		学芸	西村 寅三		布糊原料として使用する藻類の普通成分
		学芸	日暮 忠	10養伝	健康魚と病魚との血液成分の比較研究
0208	1907.08	学芸	丸川 久俊	7 養	魚類の栄養上浮遊甲殻類の価値
		論説	吉岡 哲太郎		最大急務
		学芸	金子 政之助	11養	如何なる海水鹹度か牡蠣の受精に最も好きや
		学芸	越田 徳次郎	6 養	暹羅国産魚類
		学芸	徳久 三種	10養	珪藻の種類と其生活状態
0209	1907.09	学芸	日暮 忠	10養伝	鯉の消化器作用に就いて
		学芸	田子 勝彌		水産生物採集法
		学芸	徳久 三種	10養	珪藻の種類と其生活状態 (承前)
0210	1907.10	学芸	日暮 忠	10養伝	鱒の湖中養殖
		学芸	岡村 金太郎		木更津に現れたる赤潮に就いて
		学芸	妹尾 秀実	特	養鯉の経済
0211	1907.11	学芸	田子 勝彌		水産生物採集法 (承前)
		学芸	田子 勝弥		青森県フノリ養殖調査
		学芸	徳久 三種	10養	珪藻の化石に就いて

巻号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
0211	1907.11	学芸	西川 藤吉		木更津に現れたる赤潮に就いてと題する岡村博士の説を読みて
		学芸	丸川 久俊	7 養	魚類は音響を聴取する機能ありや
0212	1907.12	学芸	西村 寅三	—	若和布体各部に於ける普通成分の分配状説
			木村 金太郎	8 製	
0213	1908.01		R 生	養殖 1 年	秋海棠
			淡山		記念碑
			石井 悌治		渋谷君を憶ふ
			植木生		桑川有一君
			海王 殿司		快鷹丸を弔う
			金子 熹生		快鷹丸の生涯
			新宅 定	3 漁	故池野仲蔵君
			蒼浪生		快鷹丸を悼む想う
			龍 叫 生	2 漁	亡き人の思い出
			馬場 駒雄	11 漁	快鷹丸を悼む
			馬場 駒雄	11 漁	快鷹丸遭難顛末
			馬場 駒雄	11 漁	吉永先生
			安脇 菱湖		航海雑感
			瓏々子		快鷹丸遭難死者を悼む
					快鷹丸の歌
					快鷹丸遭難に関する諸電報
					快鷹丸遭難志望者追悼式
		論説	SF		紳士に関する研究
		論説	伊吹生稿		余が感想記
		論説	エム生		偶感録
		論説	下道		雑糞
		論説	天日生		苦語
0301	1908.01	論説	北原 多作		鮭の蕃殖に就いて当業者に望む
		学芸	国司 浩譚		オットセイ皮に就いて
		学芸	越田 徳次郎	6 養	鱒は果たして連年産卵する乎
		学芸	佐藤 正孝	6 漁	鮭鱒沖取漁業
0302	1908.02	論説	伊谷 以知次郎	1 伝	水産交友会発会式式辞
0303	1908.03	論説	相沢 白面郎子		怪焰録
		論説	加藤 水土		先輩諸氏の反省を望む
		論説	田極生		営利事業
		論説	田口 寧一郎		鯨鯨小言
		論説	深澤生		紳士に関する研究（続き）
		論説	藤森生		本校の思潮
		論説	前田 赤面郎子		会社合同の風説について
0304	1908.04	学芸	岡村 金太郎		海藻学研究指針
0305		学芸	西村 寅三		魚肉の塩蔵効果と塩の品質との関係
		学芸	西村 寅三	—	
		学芸	木村 金太郎	8 製	網糸の単寧染剤に依る防腐染色試験成績報告
		学芸			生牡蠣輸出試験の成績
0306	1908.05	学芸	新井 虎之助	29 製	海豚皮製革に於いて副産する油に就いて
		学芸	杉浦 保吉	9 漁	漁具材料の研究（1）
		学芸	西村 寅三		刻昆布製造中銅塩溶液にて煮熟染色を行う作業（所謂青焚）に依り起る普通成分増減の状態
		学芸	山極 七郎		昆布粘質物に就いて
0307	1908.06	学芸	岡村 金太郎		伊豆沿岸テングサの減少する原因を論じ磯焼に及ぶ（予報）
		学芸	角田 鶴雄		塩魚の塩抜きに就いて
		学芸	妹尾 秀実	特	車海老の養殖
0308	1908.07	学芸	杉浦 保吉	9 漁	漁具材料の研究（承前）
		学芸	西村 寅三		刻昆布の普通成分に就いて
0309	1908.09	学芸	大島 慎二	11 製	烏賊醬の成分に就いて
		学芸	菊池 健	6 製	鱈肝油採製法予備試験成績
		学芸	杉浦 保吉	9 漁	漁具材料の研究（承前）
		学芸	関根 磯吉	6 漁	発動機附漁船
		学芸	八幡 光造	43 養	亀の産卵及び孵化に就いて
0311	1908.10	学芸	菊池 健	6 製	鱈肝油採製法予備試験成績（承前）
		学芸	越田 徳次郎	6 養	猪苗代湖に産する魚類に就いて
		学芸	小松 重利	7 漁	本邦近海に於ける鯨族の来遊に就いて（予報）

巻号	西暦	カテゴリ	氏名	卒回	題名
0311	1908.10	学芸	西村 寅三 木村 金太郎	— 8 製	網糸の単寧染色防腐染色試験 (2)
0312	1908.11	学芸	杉浦 保吉	9 漁	漁具材料の研究 (承前)
		学芸	田中 茂穂		魚類の貯蔵に就いて
		学芸	田中 仁吉	3 漁	北米合衆国に於ける大鯰市場調査の必要に就いて
		学芸	蓑作 博士著 妹尾 秀美譯	— 特	ナマコの習性及び其發育
		学芸	西村 寅三 木村 金太郎	— 8 製	網糸の単寧染色防腐染色試験 (2 の続き)
0313	1908.12	学芸	加藤 水士		自重自尊の氣風を養へ
		学芸	耕浪生		耕浪囃語
		学芸	満州		吾人の發展策
		学芸	沐猴冠者		吾輩は猿である
0401	1909.01	学芸	倉上 政幹	12 養	牡蠣卵の受精能力と海水鹹度
		学芸	杉浦 保吉	9 漁	漁具材料の研究 (承前)
		学芸	田中 仁吉	3 漁	新著島に於ける新式遠洋捕鯨業調査の必要に就いて
		学芸	西村 寅三 木村 金太郎	— 8 製	網糸の単寧染色防腐試験 (承前)
		学芸	蓑作 博士著 妹尾 秀美譯	— 特	ナマコの習性及び其發育 (承前)
0402	1909.04	学芸	岡田 少三郎		漁船 (未完)
		学芸	岡村 金太郎		伊勢湾アサクサノリの調査 (未完)
		学芸	越田 徳次郎	6 養	福島県猪苗代湖に産する虹鱒
		学芸	田中 仁吉	3 漁	新著島に於ける新式遠洋捕鯨業調査の必要に就いて (承前)
0403	1909.05	学芸	岡田 少三郎		漁船 (承前)
		学芸	岡村 金太郎		伊勢湾アサクサノリの調査 (承前)
		学芸	加藤 保		鱒稚魚に起こりたる一種の疾病に就きて
		学芸	田中 仁吉	3 漁	新著島に於ける新式遠洋捕鯨業調査の必要に就いて (完)
		学芸	松原 新之助		米国産鱒類の新変種
0404	1909.06	学芸	石田 鐵郎	9 伝	改良肝油に就いて
		学芸	岡田 少三郎		
		学芸	岡村 金太郎		静岡県下視察報告
		学芸	丸川 久俊	7 養	淡水産撓脚類四種 (其一)
		学芸	柳 直勝		プランクトン研究法に就いて
		学芸	脇谷 洋次郎 徳久 三種	— 10 養	島根県産魚類 (未完)
0405	1909.07	学芸	岡田 少三郎		漁船 (承前)
		学芸	岡村 金太郎		伊豆石花菜繁殖試験報告
		学芸	菊池 健	6 製	鱈肝油の品質に就いて
		学芸	妹尾 秀実	特	宮城県下の養蠶
0406	1909.09	学芸	岡田 少三郎		漁船 (承前)
		学芸	小川 清一 山本 由一	— 6 養	白杵町の魚市場
		学芸	河村 尊雄 永峯 治光		菓物の冷蔵
		学芸	野元 俊一 丸川 久俊	4 製 7 養	英虞湾に現はれたる赤潮に就いて
		学芸	丸川 久俊	7 養	淡水産撓脚類四種 (其二)
0407	1909.10	学芸	越田 徳次郎	6 養	サケ (<i>Oncorhynchus Keta, walbaum</i>) の年齒算定法及び其回帰年限に就いて
		学芸	吉岡 哲太郎		海豚の利用
0408	1909.12	学芸	菊池 健	6 製	鱈肝油採製に際し撰肝の必要
		学芸	武田 直	12 養	亀の解剖
		学芸	丸川 久俊	7 養	淡水産撓脚類四種 (其三)
0409	1910.01	論説	吉岡 哲太郎		珊瑚漁業及其加工法の改良を要す
		学芸	武田 直	12 養	亀の解剖 (承前)
		学芸			印刷用魚膠試験成績
0501	1910.01	学芸	下 啓助 妹尾 秀実	— 特	台湾の養殖業
0502	1910.03	学芸	杉浦 保吉	9 漁	染網剤の効力
		学芸	妹尾 秀実	特	餌料鱸の供給に就いて
0503	1910.04	学芸	岡村 金太郎		伊勢湾アサクサノリの調査 (第2回)
		学芸	坂元 清		缶詰用硫酸紙に就いて

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
0503	1910.04	学芸	杉浦 保吉	9 漁	染網剤の効力（承前）
		学芸	羽原 又吉	特	塩漬鯡の研究
0504	1910.06	学芸	越田 徳次郎	6 養	ますの鱗面に現はるる生殖記号に就いて
		学芸	日暮 忠	10養伝	水中に溶含する遊離酸素の定量法
0505	1910.07	学芸	岡村 金太郎		佐賀県沿岸海藻繁殖法私見
		学芸	越田 徳次郎	6 養	くにますに就いて
		学芸	羽原 又吉	特	塩漬鯡の研究（承前）
0506	1910.08	論説	松原 新之助		諏訪湖の経営
		学芸	三木 保次郎	13養	鮭鱒卵の研究
0507	1910.09	学芸	三木 保次郎	13養	鮭鱒卵の研究（承前）
0508	1910.10	学芸	小瀬 次郎		流網漁業に就いて
		学芸	田中 阿歌麿	特	山梨県西湖に就いて
0509	1910.11	学芸	岡村 金太郎		海藻蕃殖法
		学芸	北原 多作		「ロブスター」の新飼育法に就いて
		学芸	坂元 清		鐵葉板の品質に就いて
		学芸	妹尾 秀実	特	「アメリカン、ロブスター」の習性並にその發育
		学芸	柳本 斗夫		琵琶湖の小鮎と「プランクトン」
0601	1911.01	論説	日暮 忠	10養伝	明治43年度の我水産事業
		学芸	岡田 少三郎		漁船の建造費に就いて
		学芸	岡村 金太郎		赤潮に就いて
		学芸	田中 阿歌麿	特	山梨県西湖に就いて（承前）
0602	1911.02	学芸	北原 多作		「ロブスター」の新飼養法に就いて（承前）
		学芸	竹本 正文	13漁	新式航海日誌計算表
		学芸	松尾 靈彦		「カテチウ」及び「ガンビヤ」に就いて
0603	1911.03	学芸	藤森 三郎	12養	小笠原島産緑蠅亀の研究（未完）
		学芸	松尾 靈彦		「カテチウ」及び「ガンビヤ」に就いて
0604	1911.04	学芸	越田 徳次郎	6 養	鮭鱒の雌雄両性生殖器
		学芸	馬場 駒雄	11漁	鮎汽船延縄漁業
		学芸	藤森 三郎	12養	小笠原島産緑蠅亀の研究（完）
		学芸	矢野 實	13製	製氷及び冷蔵と所要馬力並びに石炭量
0606	1911.06	学芸	越田 徳次郎	6 養	青森県尾駁沼の鯀
		学芸	福井 千代馬		丁抹瑞典漁業談
0607	1911.07	学芸	萩野 演一	—	乾製品歩留試験及び製品成分の比較
			深山 義道	14製	
0608	1911.09	学芸	杉浦 保吉	9 漁	富山湾の定置漁業
		学芸	矢野 實	13製	氷蔵室に就いて
0609	1911.10	学芸	妹尾 秀実	特	貝殻の利用
		学芸	武富 栄一	12漁	鯉漁船の経営
		学芸	藤田 政勝	1 養	廃止塩田養魚経営に就いて
0610	1911.11	学芸	鐘ヶ江 東作	9 養	信州二於ケル養鯉業
		学芸	菊池 健	6 製	宮城県水膠減量鮫皮に就いて
		論説	下 啓助		新歳を迎ふる辞
			海老澤 光治		露領沿岸に於ける鮭鱒漁業
0701	1912.01	学芸	金子 政之助	11養	鮎孵化後の状態
		学芸	中澤 毅一		ナノプランクトン
		学芸	藤田 政勝	1 養	本邦湖沼養魚業
		学芸	川合 角也	5 伝	秋田青森両県下の大謀網
			阪元 清		三重県沃度製造業の歴史
0702	1912.02	学芸	杉浦 保吉	9 漁	新式小台網
		学芸	長友 寛	10漁	小笠原島丸南洋漁業談
		学芸	岡村 金太郎		朝鮮慶尚南道養苔業等視察意見
			阪本 清		龍涎香に就いて
0704	1912.04	学芸	青木 赳雄	12養	我国に於ける諾威式捕鯨業最近の実験
		学芸	安藤 俊吉	7 製	佐鳴湖のプランクトンに就いて
		学芸	岡本 金太郎		熊本県海苔被害原因調査
		学芸	金子 政之助	11養	鮎繁殖保護策
		学芸	長友 寛	10漁	小笠原島丸南洋漁業談（承前）
		学芸	中野治房		浮遊生物の単位量に就いて
0705	1912.05	学芸	岡田 博士原著 吉川 隆治譯補		風向の変転に依り台風の進行速度並びに其進路を求る幾何学的作画法
			小野 辰次郎	1 製	罐詰加熱法改良の一曙光
		学芸	谷中 知信	—	

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
0705	1912.05	学芸	杉浦 保吉	9 漁	新式小台網（承前）
		学芸	長友 寛	10 漁	小笠原島丸南洋漁業談（完）
0706	1912.06	学芸	岡村 金太郎		広島、愛媛、三重、愛知県下海苔養殖場調査
		学芸	藤田 政勝	1 漁	魚亀の疾病に就いて
		学芸	松野 助吉		富山湾に産する蜆魚賊に就いて（第一図版附）
0707	1912.07	学芸	小野 辰次郎	1 製	無加熱缶詰法の研究
			谷中 知信	—	
		学芸	丸川 久俊	7 養	欧羅巴産鰯に就いて
0708	1912.08	学芸	藤田 政勝	1 養	魚亀の疾病に就いて（承前）
		内外彙報	金子		施肥と「ミジンコ」との関係
		内外彙報	金子		「ダイナマイト」の効果
		内外彙報	金子		産卵と餌料との関係
		内外彙報	金子		「ハリガネムシ」と餌料との関係
		内外彙報	金子		木渋の鯉に及ぼす害
		内外彙報	徳久		淡水魚寄生虫の二三
		内外彙報	徳久		骨片に依る淡水魚類年齢の査定
		内外彙報	松野		富山県産魚類
0709	1912.09	学芸	越田 徳次郎	6 養	本邦に産する鰻の稚魚
		内外彙報	徳久		魚類は如何に見るか
0710	1912.10	論説	金子 政之助	11 養	養鰻業統一の急務
		学芸	杉浦 保吉	9 漁	新式小台網（承前）
		内外彙報	金子		出水と鮎との関係
		内外彙報	金子		鵜飼の鵜
0711	1912.11	学芸	秋山 永次	3 養	鰻の養殖に就いて（第2, 3 図版付）
		学芸	金子 政之助	11 養	水面利用の極限
		内外彙報	金子		鮎の太さ
		内外彙報	金子		蜆の浮子
0712	1912.12	学芸	榎本 弾正	9 漁	活魚運搬船に就いて
		学芸	倉上 政幹	12 養	厚岸鹹湖の牡蠣に就いて
		内外彙報	木村		普通蒸発と真空蒸発の肉越幾斯の成分に及ぼす影響に就いて
0801	1913.01	論説	金子 政之助	11 養	独逸鰻飼養奨励の可否
		学芸	榎本 弾正	9 漁	活魚運搬船に就いて
		学芸	小川 清		南清に於ける水産物経路の状況及将来の見込
		学芸	丸川 久俊	7 養	北欧羅巴に於ける鰻と其漁業及製造の方法
0802	1913.02	論説	松原 新之助		独逸鰻に就いて
		学芸	岡村 金太郎		朝鮮全羅南北両道養殖調査報告書
		学芸	杉浦 保吉	9 漁	新式小台網
		学芸	丸川 久俊	7 養	北欧羅巴に於ける鰻と其漁業及製造の方法
0803	1913.03	学芸	小川 清		南清に於ける水産物経路の状況及将来の見込
		学芸	北川 政次郎	12 製	「がいた」について
		学芸	興儀 喜宣	12 漁	台湾漁業の概略
		学芸	丸川 久俊	7 養	欧州産油漬缶詰鰻類の鑑別法
0804	1913.04	学芸	丸川 久俊	7 養	北欧羅巴産鰻に就いて
		学芸	西村 寅三		浅草海苔の貯蔵に就いて（第1 報）
		学芸	安藤 俊吉	7 製	我国の汽船捕鯨業の昨年の蹟蹟
		学芸	岡村 金太郎		宮城県視察断片録
0805	1913.05	学芸	小野 辰次郎	1 製	魚類製品の擬造に就いて
		学芸	西村 寅三		寒天の凝固成分測定に関する研究（第1 版付）
		学芸	日暮 忠	10 養伝	多摩川産の鮎と琵琶湖産小鮎の身長
		学芸	秋谷 六三	10 養	魚附林の性質に就いて
		学芸	倉上 政幹	12 養	「アンコウ」 <i>Lophins</i> の卵及び仔魚に就いて（第2 版付）
		学芸	松尾 靈彦		海豹海驢皮の鞣製
		学芸	柳本 斗夫		鮎の飼養
0806	1913.06	学芸	榎本 弾正	9 漁	活魚運搬船に就いて
		学芸	丸川 久俊	7 養	北欧羅巴産鰻に就いて
		学芸	安藤 俊吉	7 製	鯨の動物学的研究
		学芸	岡村 金太郎		山口県視察記事
0807	1913.07	学芸	金子 政之助	11 養	養鰻池には特に泥土を要するや
		学芸	日暮 忠	10 養伝	森ヶ崎魚貝養殖合資会社の養鰻試験
		学芸	寛 多記		台湾の鰻漁業に就いて
0808	1913.08	学芸	徳久 三種	10 養	粗放的養鰻用種苗としての「シラス」
		論説	金近 義之助	9 伝漁	鮎倉島開発に関する意見

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
0808	1913.08	学芸	金子 政之助	11養	鯉卵孵化池の構造
		学芸	熊田 頭四郎	10漁	大敷網漁業の海洋学的研究
		学芸	柳本 斗夫		滋賀県に於ける鮎の区別に就いて
0809	1913.09	学芸	金近 義之助	9 伝漁	加賀に於ける鯛車曳網漁業 (第3版付)
		学芸	熊田 頭四郎	10漁	日本海横断観測談
		学芸	中村 誠一		養鰻池の底質に就いて
		学芸	河村 久次郎		
			松井 秀三郎	—	
0810	1913.10	学芸	深山 義道	14製	鮭の血合と普通肉の化学成分
		学芸	金子 政之助	11養	養鰻池底の泥に就いて
		学芸	熊田 頭四郎	10漁	再び日本海横断観測に就いて
0811	1913.11	学芸	清水 隆道	14漁	統計に現はれたる漁村人口の静態
		学芸	中村 誠一		養鰻池底質に就き再び金子氏に答ふ
		学芸	川村 久治郎		
0812	1913.12	学芸	柳本 斗夫		淡水魚の卵及び稚児に就いて
		学芸	金近 義之助	9 伝漁	石川県水産史
		学芸	越田 徳次郎	6 養	勘察加に産する「ショムガ」に就いて (第5版付)
		学芸	住道 潔水		鮎の餌料は珪藻を主とせず
		学芸	藤田 政勝	1 漁	
0901	1914.01		萩原實次	—	養鰻池泥土問題
			金子 政之助	11養	
		学芸	河合 盾丸	11養	松江の白魚
		学芸	川村 九治郎		
			前田 信隆		鱒の餌料に就いて
		学芸	黒田 九萬男	9 伝漁	大正2年度オコック海の鱈漁業
		学芸	徳久 三種	10養	能登半島東沿海に於ける「プランクトン」の周期的出現に就いて
		学芸	中澤 毅一		房州布良漁業組合にて行ひたる鮑成長調査
		学芸	日暮 忠	10養伝	養鰻上に於ける研究問題
		学芸	松崎 冬次		公魚の年齢と成長度
0902	1914.02	内外彙報	木村		水中に於ける硝酸の比色定量方法並に其装置
		内外彙報	武本 源四郎	14製	魚皮鞣革に就いて
		学芸	河合 盾丸	11養	池沼湖天然生産力の一例としての神西湖
		学芸	西村 繁太郎		青森県奥入瀬川産鮭の回帰年限について
		内外彙報	石井 重美		仏蘭西に於ける淡水産魚類の輸出入
0903	1914.03	内外彙報	木村		水中に於ける微量満俺の比色定量法
		内外彙報	越田		本邦産鰻の新種
		学芸	小野 辰次郎	1 製	
			鈴木 直辰	16製	仏国産食用油に就いて
		学芸	熊田 頭四郎	10漁	エクマン氏潮流計の検定
		学芸	越田 徳次郎	6 養	「からふと」 鱒赤班病に就いての予報
		学芸	松野 助吉		再び蜚鳥賊について
		学芸	柳本 斗夫		公魚の年齢に就いて
		学芸	柳本 斗夫		「からすがひ」の成長
		内外彙報	石井 重美		本邦産鮎の「ダストマ」
0904	1914.04	内外彙報	丸川 久俊	7 養	鯖と其漁獲
		内外彙報	丸川 久俊	7 養	魚鱗に就いての観察
		学芸	大石 芳三	2 養	「わかめ」移植試験
		学芸	與儀 喜宣	12漁	台湾の鰹漁業に就いて
		学芸	加藤 保		真珠貝稚貝繁殖法に就いて
		学芸	小林 彦四郎	15養	大正2年度に於ける三面川鮭漁及鮭の回帰に就いて
		学芸	田中 仁吉	3 漁	鰹漁業経営に就いて
		学芸	西村 寅三	—	
			木村 金太郎	8 製	飲食物被掩材料の性質と微菌侵害の関係 (第1乃至7版付)
		学芸	三重県水産試験場		桑名郡木曾岬海苔簀場付近の潮流並に海水の温度及比重
0905	1914.05	内外彙報	徳久		禁漁区無効論
		内外彙報	安井		音響の魚類に及ぼす影響に就いて
		内外彙報	岡田		水中に於ける酸素及炭酸瓦斯の濃度及結合に対する魚類の抵抗
		学芸	荒野 謙三	16養	東京内湾産「くるまえび」漁業
		内外彙報	木村		鯀塩蔵に於ける酵素作用
0906	1914.06	内外彙報	松井		或る紅藻類に於ける「ジアスターゼ」の存在に就いて
		学芸	川村 久治郎		「まだひ」の解剖 (第8乃至第13版付)
		学芸	木津和 秀男	10漁	北海道北部の鰹漁業

巻 号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
0906	1914.06	学芸	松野 助吉		富山湾に産する発光烏賊
		学芸	丸川 久俊	7 養	北水丸の海洋観測に就いて (第14版付)
		内外彙報	木村		細粉状物質の組織維定量に就いて
		内外彙報	酒井		簡易水分定量法に就いて
0907	1914.07	学芸	日暮 忠	10養伝	金魚の遠距離運搬
		学芸	興儀 喜宣	12漁	台湾の鯉漁業に就いて
		内外彙報	木村		微量の硼酸定量法並びに多数の動植物食物中に於いて自然的に含有する硼酸量に就いて
		内外彙報	酒井		食品としての魚類の精液及び卵に就いて
		内外彙報	酒井		魚類貯蔵瓶詰の腐敗に就いて
		学芸	浅原 義雄		洛東江口海苔養殖試験成績
0908	1914.08	学芸	伊吹 群作		機械網の乗網及び返網の勾配に就いて
		学芸	河合 盾丸	11養	島根県岩海苔繫場整理
		学芸	岸 栄太郎		航海術新法に依り船の位置測定法
		内外彙報	木村		缶詰用缶の錫の溶出に就いて
	1914.09	学芸	能勢 忠雄	17漁	海魚の蓄養
		内外彙報	木村		缶詰用缶の錫の溶出に就いて
0910	1914.10	学芸	青木 超雄	12養	駿河湾産「さくらえび」に就いて (第15, 16版付)
		学芸	酒井 順三郎		細菌学的水質研究上に於ける簡易新法
		学芸	吉田 實		冷蔵中に於ける魚肉の含窒素物変化に就いて
		学芸	丸川 久俊	7 養	日光中宮祠湖並に箱根芦湖産浮遊生物
			東 道太郎	8 養	
		内外彙報	石井		臍囊水腫病の原因
		内外彙報	丸川		鯉の回遊と気象
0911	1914.11	内外彙報	木村		肉「エキス」中に於ける「クレアチン」の定量に就いて
		学芸	大村 八十八		小笠原島近海浮遊生物
		学芸	鬼塚 正治	15養	車海老の習性並にその蓄養法
		学芸	関 晴雄	20養	「あさくさのり」の胞子附着に就いて (第17版付)
		内外彙報	酒井		食品貯蔵工業に使用する二三防腐剤の生理的作用に就いて
		内外彙報	中村		牡蠣に及ぼす「ウオーター瓦斯ター」の作用
0912	1914.12	内外彙報	木村		缶詰内に於ける錫の含有量に就いて
		学芸	田口 長次郎	17養	養魚及養貝地の底質分析
		内外彙報	椎原		ミゾーラ州の魚道漁梯並びに其取締法
		内外彙報	中村		「アンチオビー」に就いて
		内外彙報	木村		「チオニン」溶液を以ての寒天及阿膠の染別
1001	1915..01	学芸	小野 辰次郎	1 製	油燐に就いて
			鈴木 直辰	16製	
		学芸	牧 義男		東京内湾「あさり」「ばかがひ」の養殖
		内外彙報	木村		魚「ザリガニ」蟹「ロブスター」軟体動物其他の貯蔵
		内外彙報	木村		肉の貯蔵法
		内外彙報	木村		肉其他の食料品の貯蔵法
		内外彙報	木村		乾魚及魚肥製造法
		内外彙報	木村		有機沃度化合物の調整法
		内外彙報	木村		肉桂酸の防腐力
1002	1915.02	学芸	徳久 三種	10養	七尾湾の海鼠に就いて
		学芸	中村 鋤太	17製	乾燥機に就いて (乾燥曲線図表及び第 1, 2 版付)
		学芸	松野 助吉		三たび蜆烏賊に就いて
		内外彙報	酒井		ボツタム近傍サクロウエル湖に於ける水温と酸素含有量
		内外彙報	椎原		スイフトシュアー漁礁上「サケ」族の食餌
1003	1915.03	学芸	宮重 脩吉		柔魚漁業基本調査第 1 回報告
			長屋 喜三郎		
		内外彙報	岡田		淡水産二枚貝の食物及び摂食性に就いて
1004	1915.04	内外彙報	松井		「たら」の発生に及ぼす種々の有色光線の影響につきての一二の研究
		学芸	金子 政之助	11養	長良川産鮎に就きて
		学芸	久保 雷之助	8 漁	建網漁業上の一新法
		学芸	小林 辰雄		南米智利漁業談
		学芸	中澤 貞雄		鐵及び石灰の魚類に対する被害程度の研究
		学芸	西山 伊六	— 15養	玖摩川産鮎に就きて
			鬼塚 正治		
		内外彙報	岡村		「あぢも」に就いて
1005	1915.05	内外彙報	岡村		海藻の成長率
		学芸	鬼塚 正治	15養	玖摩川産鮎に就きて (続報)

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
1005	1915.05	学芸	金子 政之助	11養	長良川産鮎に就きて
		内外彙報	木村		缶詰鮭の栄養価
		内外彙報	木村		漁網の保存法
		内外彙報	木村		魚類より可溶性蛋白質化合物の製造法
1006	1915.06	学芸	岡村 金太郎		気象と養殖並に漁業との関係
		学芸	金子 政之助	11養	長良川産鮎に就きて
		学芸	鈴木 武	53漁	燻製と冷蔵との関係
		内外彙報	岡田		魚類の回遊
1007	1915.07	学芸	鬼塚 正治	15養	玖摩川に於ける鮎の漁具漁法並に処理販売
		学芸	深山 義道	14製	鯉煮汁より「ヒシチヂン」の分離に就いて
		内外彙報	松井		「アドレナリン」の着色反応
1008	1915.08	学芸	丸川 久俊	7 養	鰯の卵と其稚児
		内外彙報	松井		「ごかい」の受精に及ぼす「ラジウム」輻射の影響
		内外彙報	松井		「つりがねむし」の生殖に及ぼす光線の影響
1009	1915.09	学芸	松井 秀三郎	—	鰻状獣の化学的研究（第1報）
			近藤 辰雄	16製	
			角 英悦	—	
		内外彙報	木村		牡蠣と海水中に含まるる「コリ」菌
1010	1915.10	内外彙報	木村		清浄法を行ひたる貝の腸内細菌数の減少
		学芸	秋谷 六三	10養	塩蔵操作に於ける仮漬の経過に就いて
		学芸	服部 愛之助	17漁	各種網具に於ける浮力沈力の関係
		内外彙報	木村		大西洋産海藻の有機成分
		内外彙報	木村		「ゼラチン」紙製造法
		内外彙報	松井		神経系なき「ほや」の発生
		内外彙報	木村		大西洋沿岸に於ける魚類廃棄物の肥料製造用としての利用に就いて
		内外彙報	木村		真珠の研究
1011	1915.11	内外彙報	木村		沃度及副産物の採取法
		学芸	伊谷 以知二郎	1 伝	鮮魚の簡易凍結試験及輸送試験
			星野 三郎	特	
			鈴木 敏三	—	
		学芸	岡田 弥一郎	16養	西カロリーネン諸島バラウに於ける鰻甲養殖に就いて
		学芸	松井秀三郎		「まがき」と「いぼがき」の成分の比較
			角 英悦		
		内外彙報	岡村		
1012	1915.12	内外彙報	岡村		海藻の利用法
		内外彙報	岡村		鯉節の鑑に就いて
		内外彙報	松井		硬骨魚の「ヘテロゲニツクハイブリッド」に於ける発生及び遺伝
		学芸	北川 政次郎	12製	缶詰蝦肉に生ずる白粉の研究
		学芸	徳久 三種	10養	「しらす」鰻の成長度に就いて
		内外彙報	岡田		魴鮒の回遊
		内外彙報	岡田		泥土上の珪藻を採集する方法
		内外彙報	中村		臍嚢水腫病
1101	1916.01	内外彙報	橋本		皮革の乾燥に水銀「ランプ」の応用
		内外彙報	松井		微細なる材料を「パラフィン」に封ずる方法
		内外彙報	松井		電離物に対する精虫の関係及び受精作用の問題に就いての其の意義に就いて
		学芸	京都府水産講習所		天の橋立内湾産鰻の成分に就きて
		学芸	長田 正男	18養	魚道及魚梯
		学芸	中野 治房		淡水と植物
		内外彙報	木村		露西亞に於て海藻より沃度の製造
		内外彙報	鈴木		発動機艇速力の世界的「レコード」
1102	1916.02	内外彙報	中村		牡蠣介殻上の成長線による年齢の表示に就いて
		内外彙報	松井		缶詰物に於ける錫、銅、鉛、亜鉛の分離及び定量法
		内外彙報	木村		亜硝酸及有機物を含有する水中に於ける溶解酸素の定量法ウインクラー氏変法
		論説	山田 盛雄	17漁	日本橋魚市場と其改善策
		学芸	津幡 文八郎	18製	寒天原藻の水分粗灰分及び凝固力に就いて
		学芸	徳久 三種	10養	海鼠の習性に就いて某氏に答ふ
		学芸	丸川 久俊	7 養	鰻の成長度に就いて
		内外彙報	幸田		食用魚類の博物的研究（其八、鰯）
1103	1916.03	内外彙報	橋本		鮪漁業に冷蔵船の使用
		内外彙報	星野		瓦斯発動機の効率に関する研究
		学芸	鎌田 武造	9 漁	山東省に於ける漁業
		学芸	日暮 忠	10養伝	わかさぎ（公魚）の人工孵化と其移植

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
1103	1916.03	内外彙報	中村		海藻の生理化学
		内外彙報	中村		水中に溶解せる瓦斯の定量
1104	1916.04	学芸	小野 辰次郎	1 製	
			鈴木 直辰	16製	鮭ペースト配合物の研究
		学芸	川村 久治郎		公魚の移植
		学芸	北原 多作		北太平洋航路観測に就いて
		学芸	徳久 三種	10養	湖潟湾澳に関する研究
		学芸	徳久 三種	10養	日本産鰻の成長度に就いて
		内外彙報	中村		サルガッソ海の花藻よりの加里
1105	1916.05	学芸	松野 助吉		富山県産有用蝦類
		内外彙報	笠井		米国産鰯に就いて
		内外彙報	妹尾		鰻の異常回遊
		内外彙報	本間		鯨に就いて
1106	1916.06	学芸	興儀 喜宣	12漁	プリンス教授の新魚道装置に就いて
		学芸	宮重 脩吉		對馬に於ける柔魚
		内外彙報	徳久		ウヅウムの鰻卵に及ぼす影響
		内外彙報	松井		ヒバマタ属精虫の生理に就いて
1107	1916.07	学芸	徳久 三種	10養	湖沼に於ける魚種の平衡に就いて
		内外彙報	木村		北米合衆国産海藻類の成分
1108	1916.08	学芸	清水 隆道	14漁	鹿児島県の鰻大敷漁場に就いて
		学芸	西村 虎三	—	
			木村 金太郎	8 製	心太の凝固度と加熱との関係
		内外彙報	谷村		獣皮の脱毛法
		内外彙報	谷村		単寧の定量に水散化ニッケルの使用
1109	1916.09	学芸	妹尾 秀実	特	鰻甲の話
		学芸	布目 孜	14製	
			徳久 三種	10養	日本海に於ける真鰻の移動に就いて
			赤松 健次	—	
		内外彙報	中野		海藻の生理化学に関する研究
		内外彙報	妹尾		鰻の生殖回遊
		内外彙報	木村		空気中に於ける鮮魚の保存法
		内外彙報	木村		食塩の精製法
		内外彙報	木村		サルガッソ海に於ける海藻より加里の採取
		内外彙報	木村		亜米利加に於ける臭素の製産額
1110	1916.10	学芸	布目 孜	14製	
			徳久 三種	10養	日本海に於ける真鰻の移動に就いて
			赤松 健次	—	
		学芸	妹尾 秀実	特	鰻甲の話
		内外彙報	妹尾		鰻の生殖回遊
		内外彙報	中野		海藻の生理化学に関する研究
		内外彙報	木村		空気中に於ける鮮魚の保存法
		内外彙報	木村		食塩の精製法精製法
		内外彙報	木村		サルガッソ海に於ける海藻より加里の採取
		内外彙報	木村		亜米利加に於ける臭素の製産額
1111	1916.11	学芸	徳久 三種	10養	河川の産額標準に就いて
		学芸	中澤 毅一		鰻成長試験の結果
		内外彙報	谷村		革の防水力測定法
		内外彙報	谷村		新鞣皮法
		内外彙報	中村		フィリッピン島海産軟体動物の保護に関する法令
1112	1916.12	学芸	源 義一		富山県氷見郡に於ける鰻大敷網漁場及び鰻に就いて
		内外彙報	徳久		比重の変化が魚類の血液に及ぼす影響
		内外彙報	徳久		甲殻類の転棲に就いて
		内外彙報	徳久		貝類繁殖保護策
1201	1917.01	学芸	橘 英三郎		魚梯試験沂
		内外彙報	松井		「どぶがひ」の溶解せる栄養物の吸収に就いて
		内外彙報	山本		缶詰内容の錫に就いて
1202	1917.02	学芸	日暮 忠	10養伝	淀川筋の鮎
		学芸	平井 佐吉郎		茨城県霞ヶ浦北浦鯉児放流成績
		学芸	丸川 久俊	7 養	堪察加西岸産鮭の壮成年齢と其漁獲量との関係
		内外彙報	岡村		溶解せる酸素及炭酸瓦斯殊に炭酸塩類と藻類との関係
		内外彙報	本間		魚及其廃棄物の利用に就いて
1203	1917.03	学芸	大石 芳三	2 養	天草繁殖保護に就いて

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
1203	1917.03	学芸	徳久 三種	10養	鰯の雌雄と生殖器官
		学芸	農商務省水産局		鮮魚輸送試験成績報告
		内外彙報	松井		滲透及化学的狀態の変化に対する淡水魚の抵抗
1204	1917.04	学芸	川上 宗治		鰯の生態研究 (第1報)
		内外彙報	松井		「クミンギア」の人工的単為生殖に就いて
		内外彙報	弓削		西比利亜の鮭缶詰業
1205	1917.05	学芸	金近 義之助	9 伝	七尾湾の経営
			徳久 三種	10養	
			布目 孜	14製	
1206	1917.06	内外彙報	松井		弁鰓類の外套膜に於ける週律的収縮に就いて
		論説	星野 佐紀	6 伝	鍼力製造業開始の必要
		学芸	河村 尊雄		欧米諸鉄道の鮮魚輸送一般
1207	1917.07	学芸	中山 留八	13製	普通焙乾と湿乾とによる鰯節の比較品評及試売経過に就いて
		学芸	深山 義道	14製	鰯煮汁に就いて (第1報)
		内外彙報	川上		光線の鰻稚魚の發育に及ぼす影響
1208	1917.08	学芸	飯塚 哲夫		九州南部に出現する変調流及濁濁水帯に関する調査
		学芸	川村 久治郎		鰯児の輸送
		学芸	清水 隆道	14漁	鹿児島県漁船の代表的船型2例
1209	1917.09	内外彙報	中村		戦後に於ける鰯の輸出
		内外彙報	木村		寒天の分析成分精製及化学的性質に就いて
		学芸	小野 辰次郎	1 製	鰯油漬の検査について
1210	1917.10	学芸	小林 雄次	13養	和布移植と其効果に就いて
		学芸	松井 佳一	17養	実験遺伝学と品種改良
		内外彙報	寺尾		アルジェリア沿岸に於ける鰯の大群の垂直的分布に就いて
1211	1917.11	内外彙報	中村		比律賓に於ける高瀬介及夜光介の漁業習性及価額
		学芸	谷村 重忠	14養	鯨の処理法に就いて
		内外彙報	木村		鮭缶詰内に於ける細菌及錫に関する研究
1212	1917.12	論説	岡村 金太郎		「てんぐさ」の蕃殖は「ほんだわら」類の掃除を最上とす
		論説	妹尾 秀実	特	板甫牡蠣養殖方法並に缶詰輸出促進に関する意見
		学芸	小野 辰次郎	1 製	鰯油漬缶詰の外観及内容の体裁に就いて
1213	1918.01	学芸	清水 隆道	14漁	小型発動機船の上下草地設計例
		内外彙報	山本		缶詰内に溶存せる錫に就いて
		内外彙報	山本		高温と食品の栄養価
1214	1918.02	内外彙報	山本		「バクテリア」による蛋白質の分解
		学芸	大石 芳三	2 養	伊豆沿岸に於ける天草繁殖事業
		学芸	大石 芳三	2 養	「ふのり」の蕃殖に就いて
1215	1918.03	内外彙報	徳久		鰯の斑紋彩色の適応に関する組織学的研究
		内外彙報	徳久		フロリダ西海岸に於ける魚族の斃死
		内外彙報	松井		「なまず」の一種の感光器官としての皮膚に就いて
1216	1918.04	学芸	青木 起雄	12養	台湾にも鰯の一種を産す (予報)
		学芸	小林 雄次	13養	河蟹の一種に就いて
		内外彙報	松井		「はたはた」属の一種の海産魚に於ける皮膚の感光性
1301	1918.01	学芸	熊田 頭四郎	10漁	對馬海峡付近四県一府聯絡海洋調査
		学芸	丸川 久俊	7 養	タラバガニと其幼児
		内外彙報	西岡		大英国に於ける鯖漁業及其貿易
1302	1918.02	内外彙報	松井		金属及非金属棒に対するナマズの反応
		内外彙報	木村		アイシングラスの製造と其主なる用途
		学芸	川村 久治郎		鰻の習性に就き一二の観察
1303	1918.03	学芸	熊田 頭四郎	10漁	對馬海峡付近四県一府聯絡海洋調査
		学芸	長棟 暉友	13漁	珊瑚移植は可能也
		内外彙報	松井		高温による死は組織中に酸の蓄積によるものなりや
1304	1918.04	内外彙報	松井		麻醉と呼吸作用
		内外彙報	松井		沃度の単為生殖作用
		学芸	照井 賢三		静岡県鰯漁業
1305	1918.05	学芸	松野 助吉		(ぶり) 習性の研究資料
		学芸	熊田 頭四郎	10漁	對馬海峡付近四県一府聯絡海洋調査
		内外彙報	鈴木		鰻及其料理法
1306	1918.06	内外彙報	中村		ミンダノ及びスルの水産物
		内外彙報	松井		器械的刺激に対するナマズの皮膚側線及耳による反応に就いて
		内外彙報	松井		ベルムダ産軟体動物の運動に就いて
1307	1918.07	内外彙報	丸川		潮汐力の長周期
		内外彙報	丸川		北米合衆国に於ける小鰯漁業産額

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
1303	1918.03	内外彙報	木村 鈴木		肉類中に於ける塩素の容量分析法
		内外彙報	鈴木		魚類の食物としての価値に就いて
1304	1918.04	学芸	中野 宗治	14養	鰯 (<i>Mugil cephalus</i> L.) の生態研究 (第2報)
		学芸	照井 賢三		静岡県鰻鮭漁業
		内外彙報	中村		ミンダノ及びスルの水産物
		内外彙報	松井		海藻の滲透圧に就いて
		内外彙報	丸川		北米太平洋岸に於ける発動機漁船
		内外彙報	北川		牡蛎及其料理法
		内外彙報	木村		コレラ菌の化学的親和力
1305	1918.05	学芸	笠井 繁治	19養	琵琶湖産鰻の天然産卵に関する一試験
		学芸	小林 章之	14漁	小型船舶荒天凌駕法の疑義に就いて
		学芸	小安 正三	16漁	網地コールドター染用圧搾器
		学芸	松野 助吉		本邦水産養殖史料
		学芸	照井 賢三		静岡県鰻鮭漁業
		内外彙報	松井		アルジェリー海岸に於けるシャッドの生態に就いて
		内外彙報	松井		シャッドの産卵回遊に就いて
		内外彙報	松井		1916年に於ける瑞西の孵化事業に就いて
		内外彙報	丸川		太平洋産大鰾の産卵力
1306	1918.06	論説	飯尾 公壽		母船式延縄漁業に就いて
		論説	野崎 民平	17漁	琵琶湖の水産経営と漁業方針
		学芸	松野 助吉		本邦水産養殖史料
		学芸	照井 賢三		静岡県鰻鮭漁業
		内外彙報	鈴木		ケビヤ及び其製法
		内外彙報	松井		アンドククラゲの生理に就いて
1307	1918.07	論説	大石 芳三	2 養	沿岸漁場の開拓に就いて
		論説	與儀 喜宣	12漁	鰹及鰯漁船の船型に就いて
		学芸	松野 助吉		本邦水産養殖史料
		学芸	照井 賢三		静岡県鰻鮭漁業
		内外彙報	北川		米国に於ける塩魚及燻製魚の食用法
		内外彙報	中村		回遊中の鮭卵巣の成分
		内外彙報	中村		回遊中の鮭筋肉成分の変化
1308	1918.08	論説	大石 芳三	2 養	「ふのり」蕃殖保護法に就いて
		学芸	松野 助吉		本邦水産養殖史料
		学芸	松野 助吉		奇なる頭足類2種
		学芸	照井 賢三		静岡県鰻鮭漁業
		内外彙報	徳久		電流の蝦に及ぼす影響
		内外彙報	徳久		鰾類の体色変化に関する研究
		内外彙報	徳久		湖沼に於ける沿岸漁の餌料に就いて
		内外彙報	木村		魚類冷蔵法の一方法
1309	1918.09	学芸	鈴木 晋	17養	東豫産瑪珂貝に関する調査
		学芸	照井 賢三		静岡県鰻鮭漁業
		内外彙報	木村		殺虫剤としての二酸化炭素
		内外彙報	谷村		魚膠
1310	1918.10	学芸	越田 秀包	19養	三面川鮭漁業
		学芸	本間 幸次郎	19養	海人草蕃殖試験に就いて
		学芸	照井 賢三		静岡県鰻鮭漁業
		内外彙報	木村		馬の飼料として海藻の利用
1311	1918.11	学芸	武田 直	12養	金華山沖深海産いばら蟹に就いて
		学芸	越田 秀包	19養	三面川鮭漁業
		学芸	照井 賢三		静岡県鰻鮭漁業
		内外彙報	木村		加熱殺虫法に就いて
1312	1918.12	学芸	越田 秀包	19養	三面川鮭漁業
		学芸	照井 賢三		静岡県鰻鮭漁業
		内外彙報	木村		ケルプより加里の採取に就きて
1401	1919.01	学芸	日暮 忠	10養伝	諏訪湖の養魚経営と其結果
		学芸	松野 助吉		本邦漁撈及び水産製造史料
		学芸	照井 賢三		静岡県鰻鮭漁業 第3編 鰻鮭遠洋漁業 第4章鰻鮭漁期
		学芸	照井 賢三		静岡県鰻鮭漁業 第3編 鰻鮭遠洋漁業 第5章鰻鮭漁法
		内外彙報	木村		ケルプより強力なる脱色炭の製造に就いて
1402	1919.02	学芸	照井 賢三		静岡県鰻鮭漁業 第3編 鰻鮭遠洋漁業 第6章漁場観測
		内外彙報	木村		オゾンの殺菌力
		内外彙報	木村		貯蔵食物の腐敗検出法

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
1403	1919.03	論説	小野 辰次郎	1 製	食物調理法変化の新気運に就いて
		学芸	大内 義男	15製	浦潮近海の蟹漁業及缶詰業
		学芸	照井 賢三		静岡県鯉鮪漁業 第3編 鯉鮪遠洋漁業 第7章乗組員
		内外彙報	丸川		1918年度北米合衆国に於ける水産上の研究並に試験事業
1404	1919.04	学芸	木村 金太郎	8 製	青梅及秩父寒天製造場視察報告
		学芸	渋谷 光時	17養	比律賓海管見
		学芸	徳久 三種	10養	鹹水池天然餌料蓄殖法としての施肥を試みたる結果に就いて
		学芸	山田 政満	13養	
		学芸	照井 賢三		静岡県鯉鮪漁業 第3編 鯉鮪遠洋漁業 第8章鯉鮪釣餌料
		内外彙報	丸川		1918年度北米合衆国に於ける水産上の研究並に試験事業
1405	1919.05	学芸	武田 直	12養	北上川遡上鮭の年齢及体長
		学芸	松本 友雄	20養	鰯児の溜池移養試験と其成績
		学芸	深山 義道	14製	鯉節微より分離せる一種の菌に就いて
		堀 重盛	—		
		内外彙報	丸川		1918年度北米合衆国に於ける水産上の研究並に試験事業
1406	1919.06	学芸	三浦 定之助	12漁	木船の救助に就いて
		内外彙報	木村		メイン鯉缶詰業に関する細菌学的予備研究
1407	1919.07	学芸	照井 賢三		静岡県鯉鮪漁業 第3編 鯉鮪遠洋漁業 第8章鯉鮪釣餌料
		内外彙報	黒田		露国ニジゴロド県下に於ける編網製鈎業
		内外彙報	蛭川		海流に関する知識の変遷
1408	1919.08	学芸	照井 賢三		静岡県鯉鮪漁業 第3編 鯉鮪遠洋漁業 第8章鯉鮪釣餌料
		内外彙報	木村		ペンゼンを以て動物油脂採取
		内外彙報	木村		鮭油の六臭化物及沃素価の測定に依り缶詰鮭の種類を鑑別する方法
		内外彙報	木村		食物と流行性感冒の感染
		内外彙報	木村		燃焼を要せざる魚肉塩素の定量法
		内外彙報	木村		ニュウフオンドランドの鰹肝油
1409	1919.09	論説	岩淵 修平	19製	輸出検査に就いて
		学芸	照井 賢三		静岡県鯉鮪漁業 第3編 鯉鮪遠洋漁業 第9章漁業組織
		内外彙報	松井		ナマズの嗅覚に就いての実験
1410	1919.10	学芸	照井 賢三		静岡県鯉鮪漁業 第3編 鯉鮪遠洋漁業 第10章経常費
		内外彙報	木村		貯蔵中に於ける油の変化に就いて
		内外彙報	松井		化学物質に依れるアレニコラの幼虫の向日性の転換に就いて
1411	1919.11	学芸	小瀬 次郎		白鯨に就いて
		学芸	武田 直	12養	沖海鼠に就いて
		内外彙報	木村		鯉缶詰の貯蔵中に於けるアンモニヤ及びアミンの生成に就いて
		内外彙報	松井		魚類の栄養に関する研究、河鱈に就いての実験
1412	1919.12	学芸	照井 賢三		静岡県鯉鮪漁業 第3編 鯉鮪遠洋漁業 第11章遭難漁船調
		内外彙報	木村		鮭缶詰内に於ける好気性芽胞生成桿状菌に就いて
		内外彙報	木村		二酸化炭素を以て脱脂せる油滓の家畜飼料としての利用に就いて
		内外彙報	木村		牡蠣体内に於ける亜鉛に就いて
		内外彙報	丸川		臓抜に於いて鰓を残存せる魚類の腐敗作用の遅速果たして如何
		内外彙報	丸川		浮遊生物の定量的研究に対する一寄与
1501	1920.01	学芸	谷村 重忠	14養	海産動物油採製歩留に就いて (1)
		学芸	大石 芳三	2 養	薬液応用岩ノリ蓄殖法に就いて
		内外彙報	木村		肉類冷凍法
		内外彙報	木村		海藻より「エチルアルコール」の製造
		内外彙報	木村		寒天液化細菌
1502	1920.02	学芸	谷村 重忠	14製	海産動物油採製歩留に就いて (2)
		内外彙報	松井		産卵回遊中のマスノスケの筋肉組織の生物化学的变化に就いて
1503	1920.03	論説	鈴木 武	53漁	食用魚類と肥料
		学芸	照井 賢三		静岡県鯉鮪漁業 (20)
		内外彙報	木村		蝦及び人手粕
		内外彙報	木村		発酵に依るグリセリンの製造
		内外彙報	木村		不鮮魚肉殺菌法
		内外彙報	木村		ペンキ及びワニス製造用としての海産動物油
		内外彙報	中村		缶詰開缶後内容物の変化に就いて
		内外彙報	中村		魚油の鞣皮業
		内外彙報	松井		産卵回遊中のマスノスケの筋肉組織中の窒素性抽出物の変化に就いて
1504	1920.04	学芸	岡村 金太郎		寄り藻の寿命に就いて
		学芸	中島 吉十郎	18製	パラオ島産高瀬貝に就いて
		学芸	谷村 重忠	14製	海産動物油採製歩留に就いて (3)
		内外彙報	松井		無脊椎動物の血液の化学的研究

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
1504	1920.04	内外彙報	松井 岡村		鯨の血液の化学的研究 トランギスバーグフィヨルトの魚の胃の内容物の研究
1505	1920.05	学芸	黒田 九萬男	9 漁伝	露領沿海州水産業に就いて (上)
		学芸	山下 武雄	特	塩蔵魚の塩抜中に於ける肉質の変化
		内外彙報	中村		海草工業に就いて
		内外彙報	中村		海草繊維に就いて
		内外彙報	中村		海草よりプイヨンの製造
		内外彙報	中村		硬化鯨油
		内外彙報	中村		食用としての鯨油
		内外彙報	中村		硬化油に就いて
		内外彙報	中村		ニッケル触媒法による油硬化法
		内外彙報	中村		アルギンに就いて
1506	1920.06	学芸	富永 盛治郎	13 漁	縮結により変化する網目計算尺
		学芸	中島 吉十郎	18 製	パラオ島産の玳瑁
		学芸	黒田 九萬男	9 漁	露領沿海州水産業に就いて (下)
		学芸	大石 芳三	2 養	薬液応用岩ノリ蕃殖法の一例に就いて
		内外彙報	中村		小鰈の餌料と其の分解により生成する「アンモニア」及び「アミン」に就いて
1507	1920.07	学芸	田口 長次郎	17 養	一般検定法によるエクマン潮流計の精確度に就いて
		内外彙報	丸川		フロリダ産牡蠣の害敵としての渦虫
		内外彙報	丸川		塩蔵には純塩使用を最適とす
1508	1920.08	学芸	大槻 清三		国際水産貿易に就いて
		学芸	荻原 茂	16 製	イタニ草及其寒天に就いて
		内外彙報	山下		魚類及び其他食物の冷蔵
		内外彙報	山下		一種の食品の製造法
		内外彙報	山下		クロロフォルムの試験法
1509	1920.09	学芸	大槻 清三		国際水産貿易に就いて (下)
		内外彙報	丸川		北太平洋に於ける水温、塩分の分布状況と洋流
		内外彙報	深山		市売硫酸中の砒素迅速定量法
1510	1920.10	学芸	関根 秀三郎	特	牡蠣の水切及び剥身浸水によるグリコーゲンの消耗に就きて
		学芸	田口 長次郎	17 養	真珠貝遠距離輸送試験成績に就いて
		内外彙報	古川		人為乾燥法の発見
		内外彙報	古川		缶詰の Cold process と乾燥法の Vacuum process
1511	1920.11	学芸	荻原 茂	16 製	鰯の体長と体量との関係
		学芸	立川 卓逸	9 製	樺太に於ける鰯生産調査 (1)
			中山 留八	13 製	
		内外彙報	深山		短期或は長期間冷蔵せられたる水蔵魚肉の化学的研究 (上)
1512	1920.12	学芸	立川 卓逸	9 製	樺太に於ける鰯生産調査 (2)
			中山 留八	13 製	
		内外彙報	深山		短期或は長期間冷蔵せられたる水蔵魚肉の化学的研究 (下)
1601	1921.01	論説	古川 武毅	22 製	諾威水産銀行設立より我水産金融を顧みて
		論説			新年の辞
		報文	鎌田 武造	9 漁	ベーリング海に於ける水産業に就いて
		報文	中井 信隆	16 養	鰯の餌料に就いて (1)
		報文			府県下主産物の生産概況及び之に対する意見並びに其他顕著なる事項 (1)
		抄録	中村 良		「ケルブ」より加里採取に就いて
		抄録	古川 武毅	22 製	牡蠣の淡紅色変化防止の研究
		抄録	深山 義道	14 製	旋光器に依るゼラチン及び膠の凝固力定量法 (1)
1602	1921.02	論説	鈴木 直辰	16 製	魚油 (海産動物油脂) の燃料としての価値
		報文	中井 信隆	16 養	鰯の餌料に就いて (2)
		報文	立川 卓逸	9 製	九州路に於ける鰻漁業の組織
		報文	立川 卓逸	9 製	樺太に於ける鰯生産調査 (3)
			中山 留八	13 製	
		報文			府県下主産物の生産概況及び之に対する意見並びに其他顕著なる事項 (2)
		抄録	古川		缶詰腐敗の原因と缶詰中の細菌
		抄録	深山 義道	14 製	旋光器に依るゼラチン及び膠の凝固力定量法 (2)
		抄録	木村 金太郎	8 製	独逸海藻の研究
1603	1921.03	報文	明石 博次	22 養	岩手県大渡川産鮭の廻帰年限並に漁獲高の変遷に就いて
		報文	甘利 集基	20 漁	大槌川に於ける鮭魚の漁獲高の統計に就いて
		報文	田中 茂穂		余の今後の方針
		報文	中井 信隆	16 養	鰯の餌料に就いて (3)
		報文	立川 卓逸	9 製	樺太に於ける鰯生産調査 (4)
			中山 留八	13 製	

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
1603	1921.03	抄録	木村		牡蛎赤変酵母
		抄録	寺尾 新	特	「テフザメ」の人工繁殖
		抄録	深山		大豆油の直接鑑定法
1604	1921.04	報文	山添 兵造	14製	パラオ島マングローブ樹に就いて
		報文	中井 信隆	16養	鱒の餌料に就いて (4) (附録として掲載す)
		抄録	木村		鮭缶詰製造に関する細菌学的研究
1605	1921.05	報文	岡村 金太郎		最近沿岸に海藻の移住したる外国の例
		報文	立川 卓逸	9 製	本邦に於ける鱈漁業の概況
		報文	中井 信隆	16養	鱒の餌料に就いて (5) (附録として掲載す)
		抄録	岡村 金太郎		鯨の皮膚に珪藻の付着することに就いて
		抄録	木村		魚類塩蔵試験
		抄録	寺尾		魚類の成長に及ぼす温度の影響
		抄録	丸川		エルブ鯨の予報
		抄録	中井		鯉児のダクチロギルス寄生病と其療法
		抄録	中井		鯉児のダクチロギルス寄生病と其療法
1606	1921.06	報文	奥田 譲		北米合衆国に於ける防腐剤の使用に就いて
		報文	中井 信隆	16養	鱒の餌料に就いて (6) (附録として掲載す)
		抄録	谷村		英国及米国に於ける「フラスアース」の産額
		抄録	谷村 重忠	14養	パラグアイに於ける「ケブラチヲ」工業
		抄録	中井		コロンビア河及サクラメント河に於けるマスノスケ幼魚の習慣
		抄録	中野 宗治	14養	鮭類 (マスノスケ) の遡河後捕餌せる一例
		抄録	古川		鮭缶詰の成分
1607	1921.07	報文	川村 正雄		養魚池に於ける酸素、水温及気象状態と浮遊生物の関係 (1)
		報文	中井 信隆	16養	鱒の餌料に就いて (7) (附録として掲載す)
		抄録	S,S 生		食用蛙に就いて
		抄録	中井		春季紅鮭に発病する腸炎症に就いて
		抄録	中井		鯉の成長と細胞の大きさに就いて
		抄録	山下 武雄	特	遠心力を応用せる加里塩の定量法
1608	1921.08	報文	岡村 金太郎		「くろきづた」に就いて
		報文	川村 正雄	24養	養魚池に於ける酸素、水温及気象状態と浮遊生物の関係 (2)
		抄録	S,S 生		食用蛙に就いて
1609	1921.09	報文	岡村 金太郎		「くろきづた」に就いて
		報文	川村 正雄	24養	養魚池に於ける酸素、水温及気象状態と浮遊生物の関係 (2)
		抄録	S,S 生		食用蛙に就いて
1610	1921.10	報文	古川 武毅	22製	背黒鱈の食品的地位と一利用法 (1)
		報文	川村 正雄	24養	養魚池に於ける酸素、水温及気象状態と浮遊生物の関係 (3)
		抄録	木村		豚の飼料として魚糧の利用
1611	1921.11	報文	奥田 譲		肉類真空乾燥法に就いて
		報文	鈴木 武	53漁	ミーキン式魚糧機械に依る製品の成分と乾燥能力
		報文	古川 武毅	22製	背黒鱈の食品的地位と一利用法 (2)
		報文			養魚池に於ける酸素、水温及気象状態と浮遊生物の関係 (正誤表)
		抄録	木村		鮭肉分解細菌
		抄録	木村		腸詰中毒菌の加熱に対する抵抗力
1612	1921.12	報文	荻原 茂	16製	鱈胆汁に就いて
		報文	矢野 實	13製	大阪市に於ける製氷及冷蔵業の概況を述べ併せて水産物冷蔵に対する愚見を披露す (1)
		抄録	木村		硝子器具の鱈損検査法
		抄録	中井		河鱈の伝染性眼病に就いて
		抄録	丸川		鱈族の食餌
		抄録	丸川		魚類の瓦斯病
1701	1922.01	報文	鎌田 武造	9 漁	亜港付近に於ける雑漁業
		報文	北川 政次郎	12製	露西亜式鮭鱈製造法 (1)
		報文	野村 利兵衛	25製専	末広鱈の製造に就いて
		報文	矢野 實	13製	大阪市に於ける製氷及冷蔵業の概況を述べ併せて水産物冷蔵に対する愚見を披露す (2)
		抄録	丸川 久俊	7 養	魚類の瓦斯病
1702	1922.02	報文	陳 謀琅	23養	鰻の消化酵素に就いて (1)
		報文	北川 政次郎	12製	露西亜式鮭鱈製造法 (2)
		報文	矢野 實	13製	大阪市に於ける製氷及冷蔵業の概況を述べ併せて水産物冷蔵に対する愚見を披露す (3)
		抄録	山下 武雄	特	冷却鹹水中に魚を凍結して貯蔵する方法に就いて
1703	1922.03	報文	富永 盛治郎	13漁	沖縄県に於ける追込網漁業
		報文	陳 謀琅	24養	鰻の消化酵素に就いて (2)

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
1703	1922.03	報文	矢野 實	13製	大阪市に於ける製氷及冷蔵業の概況を述べ併せて水産物冷蔵に対する愚見を披露す (4)
		抄録	木村 金太郎	8 製	太平洋産缶詰鮭肉の成分
1704	1922.04	報文	岩松 三郎	18製	朝鮮に於ける鮮魚輸送
		報文	隆島 啓次 森本 敏義	— 24養	東京湾口に於ける海洋状態と浮遊生物の関係 (1)
		抄録	岡村 金太郎		サンディエゴ地方の海産植物浮遊性物の統計的研究予報
		抄録	東 道太郎	8 養	「オクリカンキリ」に就いて
		抄録	東 道太郎	8 養	阿寒湖より移植せられたる姫鱒の現状
		抄録	古川 武毅	22製	魚類鹹水凍結に就いて
		論説	田中 茂穂		魚類の分布より将来を論ず
1705	1922.05	報文	海老名 謙一	23養	館山湾産宝貝検索表
		報文	比留間 崔	25養	水産動物の血球に就きて (1)
		報文	隆島 啓次 森本 敏義	— 24養	東京湾口に於ける海洋状態と浮遊生物の関係 (2)
		抄録	木村 金太郎	8 製	膨張缶詰ワスの採集装置並に分析法
		報文	小林 彦四郎	15養	台湾産鱈の発生に就いて
		報文	比留間 崔	25養	水産動物の血球に就きて (2)
1706	1922.06	抄録	東 道太郎	8 養	雲丹の脂肪性物質
		抄録	東 道太郎	8 養	鯡鱈の脂肪性物質
		抄録	松澤 定五郎	25製	「プロター」及「バックリング」鯨の作り方
		抄録	松澤 定五郎	25製	「ジャム」及「ゼリー」中の「ペクチン」に就きて
	1922.07	報文	三浦 定之助	12漁	「なまこ」
		報文	高橋 越洲		露国式氷蔵倉庫は之を本邦に利用し得るか (1)
		抄録	松澤 定五郎	25製	有益なる食物の真空乾燥
		抄録	池田 信也	22漁	加奈陀近海に於ける丁抹漁業
		抄録	山下 武雄	特	冷却鹹水中に魚を凍結して貯蔵する方法に就きて (1)
		抄録	山添 兵造	14製	水の色
		抄録	鈴木 直辰	16製	鮭の種類と洋名
1708	1922.08	報文	小林 彦四郎	15養	浮遊卵を有する淡水魚鮎の発生に就いて
		報文	高橋 越洲		露国式氷蔵倉庫は之を本邦に利用し得るか (2)
		抄録	池田 信也	22漁	汽船「トロール」の能率改良
		抄録	熊田 朝男	25養	動物の乾燥に対する生活臨界に就いて (1)
		抄録	山下 武雄	特	冷却鹹水中に魚を凍結して貯蔵する方法に就きて (2)
		抄録	山添 兵造	14製	海峡植民地より「カッチ」及「カムビア」輸入表
		報文	高橋 越洲		露国式氷蔵倉庫は之を本邦に利用し得るか (3)
1709	1922.09	報文	小林 彦四郎	15養	浮遊卵を有する淡水魚ナマズコイの発生に就いて
		抄録	東 道太郎	8 養	刺身の研究
		抄録	東 道太郎	8 養	飛魚の研究
		抄録	東 道太郎	8 養	糞尿にて養殖する台湾の虱目魚
		抄録	池田 信也	22漁	汽船「トロール」の能率改良
		抄録	熊田 朝男	25養	動物の乾燥に対する生活臨界に就いて (2)
		抄録	山下 武雄	特	冷却鹹水中に魚を凍結して貯蔵する方法に就きて (3)
		抄録	山添 兵造	14製	海峡植民地より「カッチ」及「カムビア」輸入表
		報文	立川 卓逸	9 製	府県試験船一覧
1710	1922.10	報文	松本 友雄	20養	「てんぐさ」養殖に於ける投石と経済関係
		報文	北川 政次郎	12製	露西亜式鮭鱒製造法 (3)
		抄録	東 道太郎	8 養	日常食料となった鮭缶詰の知識
		抄録	東 道太郎	8 養	寄生去勢の現象
		抄録	丸川 久俊	7 養	補充養素「ビタミン」
		抄録	深山 義道	14製	冷蔵物の貯蔵温度
	1922.11	論説	妹尾 秀実	特	宍道湖及中海に於ける水産増殖に就いて
		報文	寺尾 新	特	甲状腺飼育の金魚に及ぼす影響
		報文	北川 政次郎	12製	露西亜式鮭鱒製造法 (4)
		講義	関根 秀三郎	特	「ビタミン」の話 (1)
		抄録	東 道太郎	8 養	燻製肉中の「フオルムアルデヒド」調査報告
		抄録	東 道太郎	8 養	細菌学上より観たる腐敗缶詰
		抄録	東 道太郎	8 養	正覚坊の話
		抄録	古川 武毅 松澤 定五郎	22製 25製	缶詰製造上の注意 (1)
1712	1922.12	論説	松坂 省輔	8 製	海峡植民地より英米仏へ単寧「エキス」輸出货量
					蟹缶詰品質の優劣に就いて

巻号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
1712	1922.12	報文	永井 正	23養	琉球水産生物の方言
		報文	北川 政次郎	12製	露西亜式鮭鱒製造法 (5)
		報文	福田 亮三	25養	鰯の腸の組織的研究 (1)
		講義	関根 秀三郎	特	「ビタミン」の話 (2)
		抄録	東 道太郎	8 養	秋鯖は果たして美味か
		抄録	古川 武毅	22製	缶詰製造上の注意 (2)
		抄録	松澤 定五郎	25製	
		抄録	深山 義道	14製	支那木蠟の特数
1801	1923.01	抄録	山添 兵造	14製	英領馬來半島より「カッチ」輸入数量
		報文	栗屋 協二	8 製	漁村に用いられる特殊の言語習慣
		報文	福田 亮三	25養	鰯の腸の組織的研究 (2)
		報文	山本 祥二		鯉節の製造法と魚肉を分解して調味料を製する方法との関係
		講義	関根 秀三郎	特	「ビタミン」の話 (3)
		抄録	東 道太郎	8 養	本年春期に起れる赤潮
		抄録	茂貫 詳次		生魚輸送の新装置
		抄録	山下 武雄	特	「クークスハーフエン」の魚市場の発達 (1)
1802	1923.02	論説	Dr. David Starr. Jordan		The Origin of Japanese fish fauna
		報文	川名 武	25養	松島産牡蛎金澤夏島実入後の状態並に其の成分に就いて (1)
		報文	関根 秀三朗	特	魚貝肉蛋白の營養価比較試験 (1)
		報文	戸井田 盛蔵	5 養	福井県田島布着網の沿革
		講義	関根 秀三郎	特	「ビタミン」の話 (4)
		抄録	東 道太郎	8 養	過酸化水素を用いて魚類の呼吸に酸素を供給する実験
		抄録	東 道太郎	8 養	五箇所湾に於ける <i>Cochlodinium</i> の出現
		抄録	山下 武雄	特	「クークスハーフエン」の魚市場の発達 (2)
		抄録	木村 金太郎	8 製	肉の貯蔵及殺菌に於ける「ニトラール」瓦斯の応用 (1)
		抄録	木村 金太郎	8 製	肉の貯蔵及殺菌に於ける「ニトラール」瓦斯の応用 (2)
1803	1923.03	論説	太田 知度	18養	木曾川に於ける水電気事業と漁業
		報文	野村 康雄	20製	西班牙塩産地事情 (1)
		報文	三浦 定之助	12漁	魚付林 (1)
		報文	川名 武	25養	松島産牡蛎金澤夏島実入後の状態並に其の成分に就いて (2)
		抄録	熊田 朝男	25養	消化作用の比較 (1)
		抄録	東 道太郎	8 養	北海道の魚類
		抄録	木村 金太郎	8 製	肉の貯蔵及殺菌に於ける「ニトラール」瓦斯の応用 (2)
		抄録	木村 金太郎	8 製	肉の貯蔵及殺菌に於ける「ニトラール」瓦斯の応用 (3)
		抄録	木村 金太郎	8 製	肉の貯蔵及殺菌に於ける「ニトラール」瓦斯の応用 (3)
		抄録	木村 金太郎	8 製	肉の貯蔵及殺菌に於ける「ニトラール」瓦斯の応用 (3)
1804	1923.04	報文	三浦 定之助	17漁	魚付林 (2)
		報文	小林 彦四郎	15養	淡水魚 <i>Pinogotilus forinosanus</i> の発生に就いて
		報文	野村 康雄	20製	西班牙塩産地事情 (2)
		抄録	内田 武		魚類の気泡と其の比重に関する演繹
		抄録	熊田 朝男	25養	消化作用の比較
		抄録	東 道太郎	8 養	水生菌の酵素に就いて
		抄録	深山 義造	14製	鯨油の不飽和物に就いて
		抄録	木村 金太郎	8 製	肉の貯蔵及殺菌に於ける「ニトラール」瓦斯の応用 (3)
		抄録	木村 金太郎	8 製	肉の貯蔵及殺菌に於ける「ニトラール」瓦斯の応用 (3)
		抄録	木村 金太郎	8 製	肉の貯蔵及殺菌に於ける「ニトラール」瓦斯の応用 (3)
1805	1923.05	報文	倉上 政幹	12養	北海道水産業の最近の概況 (1)
		報文	鈴木 直辰	16製	鮮魚冷蔵方法に就いて (1)
		報文	田中 友三		みぢんこの生殖細胞中に於ける「ミトコンドリア」に就いて (1)
		報文	漁 郎		潜って見たる巾着網 (1)
		抄録	岸 栄太郎		聴感航海
		抄録	古川 武毅	22製	鮮魚氷蔵の一研究
		抄録	山下 武雄	特	「クークスハーフエン」の漁港増築
		抄録	山下 武雄	特	「クークスハーフエン」の漁港増築
		抄録	山下 武雄	特	「クークスハーフエン」の漁港増築
		抄録	山下 武雄	特	「クークスハーフエン」の漁港増築
1806	1923.06	報文	漁 郎		潜って見たる巾着網 (2)
		報文	倉上 政幹	12養	北海道水産業の最近の概況 (2)
		報文	田中 友三		みぢんこの生殖細胞中に於ける「ミトコンドリア」に就いて (2)
		報文	鈴木 直辰	16製	鮮魚冷蔵方法に就いて (2)
		抄録	興儀 喜宜	12漁	伊太利に於ける焚寄漁業
		抄録	熊田 朝男	25養	アドレナリン含有飼料が甲状腺の沃土含有量に及ぼす効果に就いて
		抄録	東 道太郎	8 養	邦生完口蓋類に就いて
		抄録	東 道太郎	8 養	再び赤潮に就いて
		抄録	東 道太郎	8 養	鰻魚に就いて
		抄録	東 道太郎	8 養	東京郊外に鰻魚繁殖す
		抄録	興儀 喜宜	12漁	ピリングスケート取扱高
		抄録	興儀 喜宜	12漁	新著島大正11年上半年鰹油輸出高
		抄録	興儀 喜宜	12漁	伊国に於ける鰹輸入制限撤廃
		抄録	木村 金太郎	8 製	河水及海水中に於ける「コレラ」菌の生存期間に関する研究

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
1807	1923.07	報文	山本 祥吉	13製	鯉魚節並に鰻煮換乾鰻の成分に就いて
		報文	三浦 定之助	17漁	砂を吹く魚
		報文	小林 彦四郎	15養	鮎卵の発生と稚仔飼育とに就いて (1)
		報文	松野 助吉		本邦水産養殖史料 (追加上)
		報文	倉上 政幹	12養	北海道水産業の最近の概況 (3)
		抄録	池田 信也	22漁	The “Fix” by Radio (1)
		抄録	桜井 輝	25漁	船底塗料の新見解
		抄録	深山 義道	14製	「マックワン」蟹肝油
		抄録	深山 義道	14製	鮭油及鰯油に就いて
		抄録	深山 義道	14製	抹香鯨油及眞海豚油中の新不飽和酸に就いて
		抄録	深山 義道	14製	美しき水槽魚類
		抄録	熊田 朝男	25養	科斗に対する「エチルアルコール」の影響
1810	1923.10	論説			災厄の所感
		報文	玄 川 生		炭酸式と安母尼亜式との冷凍機比較所見
		報文	小金丸汎愛	15養	朝鮮に於ける養殖業
		報文	立川 卓逸	9 製	宮城県水産業の三大特色 (1)
		報文	小林 彦四郎	15養	鮎卵の発生と稚仔飼育とに就いて (2)
		抄録	岩本 正一	25製	野菜缶詰中の水素イオンの濃度及好熱細菌の死滅温度
1811	1923.11	報文	松野 助吉		本邦水産養殖史料 (追加中)
		報文	立川 卓逸	9 製	宮城県水産業の三大特色 (2)
		抄録	池田 信也	22漁	The “Fix” by Radio (2)
1901	1924.01	報文	小林 彦四郎	15養	鮎卵の発生と稚仔飼育とに就いて (3)
		報文	立川 卓逸	9 製	宮城県水産業の三大特色 (3)
		抄録	池田 信也	22漁	The “Fix” by Radio (3)
		抄録	木村 金太郎	8 製	独逸に於ける漁網の予備加工及染色防腐法
1902	1924.02	報文	小松 重利	7 漁	天蚕糸事情 (1)
		報文	浜名 英夫		鹿児島県近海産深海魚の一部に就いて
		報文	松野 助吉		本邦水産養殖史料 (追加下)
		報文	立川 卓逸	9 製	宮城県水産業の三大特色 (4)
		抄録	池田 信也	22漁	The “Fix” by Radio (4)
		抄録	木村 金太郎	8 製	独逸に於ける漁網の予備加工及染色防腐法
1903	1924.03	報文	鴨脚 七郎	特	河川に於ける鮭に就いて (1)
		報文	越田 徳次郎	6 養	間宮海峡に於ける漁獲されたる「サケ」属に就いて
		報文	小松 重利	7 漁	天蚕糸事情 (2)
		報文	松野 助吉		続水産養殖史料
		抄録	中野 宗治	14養	奇形児と卵の加熱
		抄録	蜷川 虎三	20養	照応性変異に就いて (1)
		抄録	木村 金太郎	8 製	凍結速度の筋肉組織に及ぼす変化に就いて (1)
1904	1924.04	報文	田村 松太郎	一	果たして「あさくさりの」の胞子か
		報文	水野 復一郎	27養	
		報文	深山 義道	14製	北千島の鰯肝油業
		報文	鴨脚 七郎	特	河川に於ける鮭に就いて (2)
		報文	小松 重利	7 漁	天蚕糸事情 (3)
		抄録	中野 宗治	14養	鰯類の精液の生物学的並に生理学的研究
		抄録	蜷川 虎三	20養	照応性変異に就いて (2)
1905	1924.05	抄録	木村 金太郎	8 製	凍結速度の筋肉組織に及ぼす変化に就いて (2)
		論説	小野 辰次郎	1 製	水産物の醸造に就いて
		報文	越田 徳次郎	6 養	鮭類の洄游に関する一新事実
		報文	齋藤 光雄	22養	海苔養殖場に於ける海水と海苔成分との関係
		報文	鴨脚 七郎	特	河川に於ける鮭に就いて (3)
		報文	三浦 定之助	17漁	大きい様で小さい大謀の入り口 (1)
		抄録	蜷川 虎三	20養	照応性変異に就いて (3)
1906	1924.06	報文	落合 清		丹後海に洄游する鱈に関する調査
		報文	故松野 助吉		本邦漁撈及び水産製造資料 (1)
		報文	三浦 定之助	17漁	大きい様で小さい大謀の入り口 (2)
		報文	野村 康雄	20製	香港に於ける海産物取引慣行
		報文	立川 卓逸	9 製	宮城県水産業の三大特色 (5)
		抄録	深山 義道	14製	海産の皮
1907	1924.07	報文	齋藤 光雄	22養	浅海に於ける化合態窒素に就いて
		報文	林 壽	特	「トロール」漁網引曳中に於ける張力測定に就いて
		報文	故松野 助吉		本邦漁撈及び水産製造資料 (2)
		報文	野村 康雄	20製	北亜非利加チュニス産塩事情

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
1907	1924.07	報文	落合 清		丹後海に洄游する鱚に関する調査 (2)
		報文	立川 卓逸	9 製	宮城県水産業の三大特色 (6)
		抄録	深山 義道	14製	靱革と「グルー」(1)
		抄録	山下 武雄	特	製缶用鉄葉板の選び方
1908	1924.08	報文	栗田 要吉	18漁	三重県下に於ける鮪漁獲の豊凶に関する考察
		報文	山本 祥吉	13製	「アミノ」酸の調味力に就いて
		報文	古川 武毅	22製	北米合衆国に於ける製水冷蔵並に鮮魚冷凍事業の大勢 (1)
		報文	故松野 助吉		本邦漁撈及び水産製造資料 (3)
		抄録	山下 武雄	特	海水のイオン濃度と魚族回遊との関係
		抄録	木村 金太郎	8 製	融解の際凍結肉の筋肉組織に生ずる変化の状況
1909	1924.09	報文	三浦 定之助	17漁	「なまこ」の夏眠
		報文	川合 角也	5 伝	大震災火災の定置漁業統計 (1)
		報文	古川 武毅	22製	北米合衆国に於ける製水冷蔵並に鮮魚冷凍事業の大勢 (2)
		報文	故松野 助吉		本邦漁撈及び水産製造資料 (4)
		抄録	木村 金太郎	8 製	凍結肉と衛生 (1)
1910	1924.10	報文	木村 金太郎	8 製	法に関する試験成績 (1)
		報文	川合 角也	5 伝	大震災火災の定置漁業統計 (2)
		報文	野村 康雄	20製	西班牙塩事情
		報文	立川 卓逸	9 製	宮城県水産業の三大特色 (7)
		抄録	木村 金太郎	8 製	凍結肉と衛生 (2)
1911	1924.11	報文	青木 赳雄	12養	鮎卵と砂粒との関係
		報文	久保 要	27漁	潜水器事業の経済と其の将来 (1)
		報文	川合 角也	5 伝	大震災火災の定置漁業統計 (3)
		報文	木村 金太郎	8 製	法に関する試験成績 (2)
		報文	立川 卓逸	9 製	宮城県水産業の三大特色 (8)
		抄録	深山 義道	14製	靱革と「グルー」(2)
1912	1924.12	論説	倉上 政幹	12養	北海道春鯨漁況予知に就いて (1)
		報文	太田 知度	18養	電流に依る防魚試験に就いて
		報文	久保 要	27漁	潜水器事業の経済と其の将来 (2)
		報文	川合 角也	5 伝	大震災火災の定置漁業統計 (4)
		報文	木村 金太郎	8 製	法に関する試験成績 (3)
		抄録	浜名 英夫		布哇ホノルルの魚類供給状態に就いて
2001	1925.01	論説	倉上 政幹	12養	北海道春鯨漁況予知に就いて (2)
		報文	荻原 茂	16製	「フィッシュゲレー」(Fish galae) の製造試験
		報文	川合 角也	5 伝	大震災火災記念の定置漁業統計五ノ一
		報文	蛭川 虎三	20養	鮑の殻長と殻幅との関係
		報文	林 壽	特	二艘曳発動機手繰網引曳中に於ける張力に就いて
		報文	久保 要	27漁	潜水器事業の経済と其の将来 (3)
		抄録	木村 金太郎	8 製	アルゼンチン産魚類に関するオッテンゼン氏凍結方法試験の状況
2002	1925.02	論説	玄川 生		水産物輸送に関する私見 (瓦斯発動機利用に就いて)
		報文	田中 茂穂		魚類分布の研究
		報文	木村 金太郎	8 製	英国大博覧会に於ける水産製造及び冷蔵関係の出品品に関する調査
		報文	立川 卓逸	9 製	宮城県水産の三大特色 第三宮城県一艘旋巾着網漁業 (1)
		報文	日暮 忠	10養伝	泥鰌の養殖
		報文	三浦 定之助	17漁	何だか変なエクマン潮流計 (1)
		報文	川合 角也	5 伝	大震災火災記念の定置漁業統計五ノ二
		抄録	川口 武男	23製	腐敗鮭に於ける細菌の根源と性状 (1)
		抄録	浜名 英夫		鮭鱒類の白色無効卵の生じる原因に就きて
2003	1925.03	報文	川口 武男	23製	膨張鮭缶詰に於ける細菌に就いて (1)
		報文	徳久 三種	10養	白鳳丸の魚体温測定につきて
		報文	蛭川 虎三	20養	照応計算の一例
		報文	三浦 定之助	17漁	何だか変なエクマン潮流計 (1)
		報文	川合 角也	5 伝	大震災火災記念の定置漁業統計六
		報文	立川 卓逸	9 製	宮城県水産の三大特色 第三宮城県一艘旋巾着網漁業 (2)
		抄録	浜名 英夫		アラスカの「まて」貝に就いて
		抄録	山下 武雄	特	天日、真空、熱風に依る魚類比較
		抄録	川口 武男	23製	腐敗鮭に於ける細菌の根源と性状 (1)
		抄録	木村 金太郎	8 製	「トリクロールエチレン」利用脂肪定量法の研究
2004	1925.04	抄録	木村 金太郎	8 製	魚網保存試験
		報文	鷹司 信敬	20養	群馬県碓井郡豊岡村の養鯉事業
		報文	川口 武男	23製	膨張鮭缶詰に於ける細菌に就いて (2)
		報文	川合 角也	5 伝	大震災火災記念の定置漁業統計七

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
2004	1925.04	抄録	岩本 正一	25製	缶詰中細菌の混入と殺菌との関係 (1)
		抄録	木村 金太郎	8 製	発育を防止す
		抄録	木村 金太郎	8 製	低温度も細菌
2005	1925.05	論説	丹波 慎三		水産経済史の研究手法
		報文	鷹司 信敬	20養	長野県南佐久郡桜井村の養鯉事業
		報文	田代 清友		若狭鰯に就いて
		報文	矢野 實	13製	「メキシコ」産鰯の体重と体長との関係
		報文	川合 角也	5 伝	大震災火災記念の定置漁業統計八
		抄録	岩本 正一	25製	缶詰中細菌の混入と殺菌との関係 (2)
		抄録	木村 金太郎	8 製	寒冷と「コレラ」菌の運命に関する文献 (1)
		報文	川口 武男	23製	「レトルト」内に於ける缶の膨張に就いて
		報文	三宅 豊	特	恒温槽設計の要領
2006	1925.06	報文	小林 彦四郎	15養	「タップミンノオ」の分娩に就いて (1)
		報文	鷹司 信敬	20養	長野県南佐久郡野澤町の養鯉事業
		報文	野村 康雄	20製	西班牙塩の品種と相場
		抄録	岩本生		「ヴィタミン」C と林檎缶詰
		抄録	木村 金太郎	8 製	寒冷と「コレラ」菌の運命に関する文献 (2)
		論説	菊山 修五郎		「トロール」漁具の部分的改良に就いて
		報文	木村 金太郎	8 製	Putrificus 菌の種類決定に就いて (1)
		報文	酒井 懺	25漁	「のり」の胞子の比重に就いて
		報文	小林 彦四郎	15養	「タップミンノオ」の分娩に就いて (2)
2007	1925.07	報文	川合 角也	5 伝	大震災火災記念の定置漁業統計 表
		抄録	木村 金太郎	8 製	膨張せる煮鯖缶詰の細菌学的研究
		論説	丹波 慎三		日本水産経済史概論
		報文	齋藤 光雄	22養	鰻の呼吸に関する研究 (1)
		報文	立川 卓逸	9 製	宮城県水産の三大特色 第三宮城県巾着網 (3)
		報文	木村 金太郎	8 製	Putrificus 菌の種類決定に就いて (2)
		報文	太田 知度	18養	「いわな」の蕃殖に就いて
		抄録	木村 金太郎	8 製	缶詰の Flat Sonr の原因
		報文	川合 角也	5 伝	大震災火災記念の定置漁業統計 (9)
2009	1925.09	報文	立川 卓逸	9 製	宮城県水産の三大特色 第三宮城県巾着漁船 (4)
		報文	齋藤 光雄	22養	鰻の呼吸に関する研究 (2)
		抄録	木村 金太郎	8 製	缶詰と中毒細菌
		抄録	木村 金太郎	8 製	缶詰の Flat Sonr の原因
2010	1925.10	論説	丹波 慎三		水産銀行論 (1)
		報文	小川 彦四郎		鮎の池中飼育に就いて
		報文	川合 角也	5 伝	大震災火災記念の定置漁業統計 (10)
		抄録	木村 金太郎	8 製	「トコトパルプ」「トマトケチャップ」その他「トマト」製品の発酵原因たる細菌の性質と其予防法
		抄録	木村 金太郎	8 製	米国パリセード、イターステート、パーク植物浮遊生物の生態と養分上の関係 (3件)
		抄録			印度「サージン」の生活史
		抄録			有毒藍藻類に就いて
2011	1925.11	論説	丹波 慎三		水産銀行論 (2)
		報文	三宅 豊	特	海の色に関する Shoulejkin 氏の理論と其の応用
		報文	川合 角也	5 伝	大震災火災記念の定置漁業統計 (11)
		報文	立川 卓逸	9 製	宮城県水産の三大特色 第三宮城県巾着漁網業 (5)
		抄録	岡村 金太郎		酵母と脂肪及「アルコール」の源泉としての海藻
		抄録	深山 義道	14製	支那木蠟の化学
		抄録	木村 金太郎	8 製	野菜缶詰に於ける酸の関係
2012	1925.12	報文	川合 角也	5 伝	大震災火災記念の定置漁業統計 (12)
		報文	丹波 慎三		水産銀行論 (3)
		報文	比留間 崔	25養	瀬戸内海の鰕蟹の種類
2101	1926.01	論説	丹波 慎三		水産銀行論 (4)
		報文	太田 知度	18養	流水養鯉の使用水量と放養量
		報文	福田 亮三	25養	天然鹹水に就いて
		抄録	松井 圭一	17養	獅子頭金魚の肉瘤に就きて
		抄録	木村 金太郎	8 製	「コレラ」菌と水中「ヴブリオ」の糖化酵素
		抄録	木村 金太郎	8 製	缶詰中毒
2102	1926.02	論説	丹波 慎三		水産銀行論 (5)
		論説	丹波 慎三		水産銀行論 (6)
		報文	碓井 秋雄	23漁	本邦太平洋岸に於ける鰹鮪漁業根拠地と其の設備
		報文	川合 角也	5 伝	大震災火災記念の定置漁業統計 (13)

巻 号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
2102	1926.02	講義	林 壽	特	転輪羅針儀 (1)
		抄録	比留間 崔	25養	三つの後肢を有する蛙の幼児
		抄録	木村 金太郎	8 製	「アルコール」を利用する肉の腐敗検出法
		抄録	木村 金太郎	8 製	鮮肉より分離せる或嫌気性細菌に就いて
2103	1926.03	報文	浜名 英夫		鹿児島県近海産藻類目録
		報文	深山 義道	14製	冷凍大鰯の加工に就いて
			岩本 正一	25製	
		報文	川合 角也	5 伝	大震災火災記念の定置漁業統計 (14)
		講義	林 壽	特	転輪羅針儀 (2)
		抄録	浜名 英夫		毎日の食物としての魚類の価値に就いて (1)
		抄録	木村 金太郎	8 製	魚類より滋養剤の製法
		抄録	木村 金太郎	8 製	「エビ」肉に於ける「アンモニア」の定量に就いて
		抄録	岡村 金太郎		蛙の卵と珪藻との共生
2104	1926.04	抄録	熊田 朝男	25養	琵琶湖の肉眼的動物に就いて (1)
		報文	福田 亮三	25養	鮑の成長と殻長重量との関係
		報文	三浦 定之助	17漁	露天掘りの魚
		報文	川合 角也	5 伝	大震災火災記念の定置漁業統計 (15)
		講義	林 壽	特	転輪羅針儀 (3)
		抄録	熊田 朝男	25養	琵琶湖の肉眼的動物に就いて (2)
		抄録	浜名 英夫		毎日の食物としての魚類の価値に就いて (2)
2105	1926.05	報文	明石 博次	22養	釜石湾湾水の研究
		報文	飯尾 公壽		紀州南方二百哩堆の漁場的価値
		報文	茂貫 祥次		冷凍せる魚体の冷凍中に於ける乾燥に就いて
		報文	川合 角也	5 伝	大震災火災記念の定置漁業統計 (16)
		抄録	岡村 金太郎		肥料食用及工業用として海藻の利用
		抄録	東 道太郎	8 養	蛋白質特異性の進化
		抄録	木村 金太郎	8 製	「ヂャム」に混合せられたる寒天を「ベクチン」より分離して分析する方法
2106	1926.06	報文	角田 靖治		勘察加の鮭鱒に就いて (1)
		報文	福田 國男	24製	蒲鉾製造法に就いての化学的考察 (1)
		報文	酒井 徹	25漁	本邦水産史 (1)
		報文	川合 角也	5 伝	大震災火災記念の定置漁業統計 (17)
		報文	福田 國男	24製	蒲鉾製造法に就いての化学的考察 (2)
		抄録	熊田 朝男	25養	琵琶湖の肉眼的動物に就いて (3)
2107	1926.07	報文	角田 靖治		勘察加の鮭鱒に就いて (2)
		報文	川合 角也	5 伝	大震災火災記念の定置漁業統計 (18)
		抄録	木村 金太郎	8 製	缶詰食品肉に天然的に含有せらるる「フォロムアルデヒド」
		抄録	岡村 金太郎		或魚の餌料に就いて
2108	1926.08	報文	寶來 利一	24製専	真珠液の製法
		報文	原 邦明	26養	「かざみ」の腸に就いて
		報文	酒井 徹	25漁	本邦水産史 (2)
		抄録	松井 佳一	17養	葉脚類の一種の繁殖による養魚被害の一例
		抄録	木村 金太郎	8 製	缶詰内容特に含有せらるる錫の新定量法
2109	1926.09	報文	川名 武	25養	納沙布崎沖 (根室) に於ける表面水温の不連続面に就いて
		報文	木下 虎一郎	27養	京浜地方に於ける牡蠣の需要関係に就いて
		報文	山本 米作		乾燥剤の魚油に及ぼす影響 (1)
		抄録	岡村 金太郎		或紅藻類の寒天質
		抄録	岡村 金太郎		遊離沃素を形成する或紅藻類
		抄録	浜名 英夫		アラスカ南東地方標識鮭放流試験
2110	1926.10	報文	藤田 政勝	1 養	本邦真珠養成上の進歩
		報文	山本 米作		乾燥剤の魚油に及ぼす影響 (2)
		抄録	浜名 英夫		北海の海流調査
		抄録	田中 耕之助	14漁	極星緯度新法
2111	1926.11	報文	岡村 金太郎		「アラメ」と「カヂメ」との和名に就いて
		報文	山下 武雄	特	北鮮に於ける支那向輸出塩鱈製造に就いての概要
		報文	比留間 崔	25養	瀬戸内海の蝦蟹 (2)
		抄録	熊田 朝男	25養	寄生撓脚類の付属肢の観察
		抄録	福田 亮三	25養	ペーカー河魚道の完成
2112	1926.12	報文	熊田 朝男	25養	「アクアリウムセメント」に就いて
		報文	山下 武雄	特	大羽鰻の生殖素の発達と肉質との関係
			福田 亮三	—	
		報文	酒井 徹	25漁	本邦水産史 (3)
		報文	比留間 崔	25養	瀬戸内海の蝦蟹 (3)

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
2201	1927.01	報文	吉村 信吉		水草の湖水温に及ぼす影響
		報文	三浦 定之助	17漁	だいすが
		報文	酒井 櫨	25漁	本邦水産史 (4)
		抄録	木村 金太郎	8 製	「フライ」魚肉の化学成分
2202	1927.02	論説	丹波 慎三		日本水産経済史概論 (2) 続
		論説	丹波 慎三		テルデン女史の講演
		報文	関根 秀三郎	特	「アサリ」「ハマグリ」に関する既往の化学的研究
		報文	熊田 頭四郎	10漁	気象海象の同時自記観測
		報文	酒井 櫨	25漁	本邦水産史 (5)
		報文	比留間 崔	25養	瀬戸内海の蝦蟹 (4)
		抄録	木村 金太郎	8 製	鯨の分解と蛋白質分解酵素
		抄録	木村 金太郎	8 製	化学作用による果実缶詰の膨張
		報文	寶来 利一	24製専	魚鱗の利用に就いて
		報文	藤田 正	29漁	勘察加西岸産貝類
2203	1927.03	報文	熊田 頭四郎	10漁	對馬海峡付関係海区海藻聯絡調査
		報文	酒井 櫨	25漁	本邦水産史 (6)
		抄録	大島 信夫	22養	「ビタミン」貯蔵に関する定量研究
		抄録	大島 信夫	22養	「ケルダールガンニング」窒素定量法の蒸留液中「アミン」の存在に就いて
		抄録	大島 信夫	22養	北満州産の亀
		抄録	岡屋 忠治	28製	漁網防腐剤としての「オレイン」銅
		抄録	木村 金太郎	8 製	缶詰食物内に於ける「クロストリヂウムボツリヌム」の毒素生成
		抄録	木村 金太郎	8 製	肉「エキス」の水分を正確に定量する方法
		報文	大内 義男	15製	水産製品中の「筋」の意義に就いて
		報文	大島 信夫	22養	養魚池水酸素含有量に就いて
2204	1927.04	報文	木下 虎一郎	27養	牡蠣採苗の一試験
		抄録	大島 信夫	22養	「キーゼン」の「プロタミン」に就いて
		抄録	大島 信夫	22養	蝦肉蛋白窒素の分布に就いて
		抄録	浜名 亀助	22養	鰯及鯨油の抗佝僂病に対する価値
		抄録	熊田 朝男	25養	Lernaeopoda scyllicola の雄の栄養に就いて
		論説	酒井 櫨	25漁	外に叫ぶ前に内に省よ
		報文	青木 起雄	12養	台湾産魚類に就いて
		報文	宝来 利一	25製専	虹彩人造真珠に就いて
		報文	吉村 信吉		深い温滞湖の夏期深層水温
		抄録	加藤 清一郎	20製	1926年に於ける仏蘭西漁業概況
2205	1927.05	抄録	熊田 朝男	25養	管口真撓脚の一種 (Cahigus zei Normau. And T.scott) 並びにその附属肢の加観察に就いて
		抄録	山下 武雄	特	鰻油漬缶詰の製法に就いて
		報文	稲葉 俊	27養	焼津町及近郊養魚場の一般
		報文	原 邦明	26養	垂下式養蠶法に於ける用器の制限
		報文	東原 正雄	29養	蒲鉾の防腐法に就いて
		報文	酒井 櫨	25漁	本邦水産史 (7)
		抄録	岡屋 忠治	28製	食塩砂糖及酸素の「トマターケチャップ」に及ぼす防腐剤効力に就いて
		報文	大島 幸吉		魚肉の新鮮度及蟹缶黒変度と水素「イオン」濃度との関係
		報文	大島 信夫	22養	養成鰻の肥厚と栄養素の蓄積率
		報文	野村 康雄	20製	主要食料品本邦輸入高表
2206	1927.06	抄録	吉村 信吉		東プロイセンの湖沼の3標式と「ホワイトフィッシュ」
		報文	角田 靖治		勘察加に於ける鮭鱒と食塩
		報文	齋藤 光雄	22養	「キログクチーラス」虫の鰯寄生に就いて
		抄録	黒沼 勝造	33養	米国に於ける海産穿孔動物
		抄録	小谷 和夫	27製	缶詰の細菌学的研究 (1)
		抄録	志賀 岩雄	28製	食品中の亜硫酸の簡単な検出法
		抄録	野村 康雄	20製	世界に於ける食塩の製産額
		報文	甘利 集基	20漁	岩手県下沿岸に於ける鮭魚道に就いて
		報文	酒井 櫨	25漁	本邦水産史 (8)
		報文	野村 康雄	20製	本邦食料高輸出統計
2207	1927.07	抄録	野村 康雄	20製	塩世界各国輸出統計
		報文	内藤 新吾	26養	「あさくさのり」の胞子に対する一奇興
		報文	山下 武雄	特	塩魚冷蔵試験
		報文	酒井 櫨	25漁	本邦水産史 (9)
		報文	内藤 新吾	26養	「あさくさのり」の施肥試験
		抄録	小谷 和夫	27製	缶詰の細菌学的研究 (2)
		抄録	野村 康雄	20製	塩世界各国輸入統計
2208	1927.08	報文	角田 靖治		勘察加に於ける鮭鱒と食塩
		報文	齋藤 光雄	22養	「キログクチーラス」虫の鰯寄生に就いて
		抄録	黒沼 勝造	33養	米国に於ける海産穿孔動物
		抄録	小谷 和夫	27製	缶詰の細菌学的研究 (1)
2209	1927.09	抄録	志賀 岩雄	28製	食品中の亜硫酸の簡単な検出法
		抄録	野村 康雄	20製	世界に於ける食塩の製産額
		報文	甘利 集基	20漁	岩手県下沿岸に於ける鮭魚道に就いて
		報文	酒井 櫨	25漁	本邦水産史 (8)
2210	1927.10	報文	野村 康雄	20製	本邦食料高輸出統計
		抄録	野村 康雄	20製	塩世界各国輸出統計
		報文	内藤 新吾	26養	「あさくさのり」の胞子に対する一奇興
		報文	山下 武雄	特	塩魚冷蔵試験
2211	1927.10	報文	酒井 櫨	25漁	本邦水産史 (9)
		報文	内藤 新吾	26養	「あさくさのり」の施肥試験
		抄録	小谷 和夫	27製	缶詰の細菌学的研究 (2)
		抄録	野村 康雄	20製	塩世界各国輸入統計

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
2211	1927.11	報文	太田 知度	18養	水面の利用と対差的地地
		報文	齊藤 光男	22養	魚体を主体としての蛹の餌料価値
		報文	宝来 利一	25製専	魚鱗精製法並に真珠液製法に就いて
		抄録	岡屋 忠治	28製	缶詰製造法に依って影響されたる「ビタミン」C
		抄録	岡屋 忠治	28製	抗痲病要素
2212	1927.12	抄録	小谷 和夫	27製	缶詰の細菌学的研究 (3)
		報文	宝来 利一	25製専	我が国に於ける人造真珠製造工業
		報文	吉村 信吉		日本の深い湖水温と夏期
		抄録	岡屋 忠治	28製	缶詰製造に於ける熱の伝導 (1)
		抄録	志賀 岩雄	28製	「アオルムアルデヒド」の微量分析
2301	1928.01	論説	酒井 徹	25漁	海の教化と太平洋上の癌
		報文	青木 赴雄	12養	南洋方面の「サバヒー」稚魚と親魚
		報文	岡田 弥一郎	16養	秋の高之島付近の浮遊動物
		抄録	岡屋 忠治	28製	缶詰製品に於ける熱の伝導 (2)
2302	1928.02	報文	甘利 久吉	29製	水産金融に就いて (1)
		報文	宝来 利一	25製専	虹彩真珠の光線に依る変色に就いて
2303	1928.03	報文	宮地 伝三郎		湖底生物研究予報 (1)
		報文	甘利 久吉	24製	水産金融に就いて (2)
		抄録	加藤 清一郎	20製	仏国の乳類工業
2304	1928.04	報文	太田 知度	18養	河川の水産養殖の豊度に就いて
		報文	甘利 久吉	24製	水産金融に就いて (3)
		報文	宮地 伝三郎		湖底生物研究予報 (2)
		抄録	山下 武雄	特	各種の食物中の妖土含有量
		抄録	木村 金太郎	8 製	魚類塩蔵中に於ける化学的变化
2305	1928.05	報文	宝来 利一	25製専	「リクイドパール」
		報文	甘利 久吉	24製	水産金融に就いて (4)
		報文	宮地 伝三郎		湖底生物研究予報 (3)
		抄録	大島 信夫	22養	Fundulus heteroclitus の消化体系と其の機能
2306	1928.06	報文	土井 久之	26養	二年生鯉児及青仔混養稲田養鯉収支経済実例
		報文	土井 久之	26養	稲作に施肥を為さざる養鯉稲田の収支経済実例
		報文	浜名 亀助	22養	奄美大島産海藻に就いて
		報文	宝来 利一	25製専	虹彩真珠変色防止の方法
		報文	甘利 久吉	24製	水産金融に就いて (5)
		抄録	大島 信夫	22養	海魚窒息中の血液濃度
2307	1928.07	報文	岡村 金太郎		南洋の海藻二, 三
		報文	甘利 久吉	24製	水産金融に就いて (6)
2308	1928.08	報文	宮地 伝三郎		琵琶湖の魚類に就いて
		報文	甘利 久吉	24製	水産金融に就いて (7)
		報文	川村 正雄	24養	木崎湖水温及び浮遊生物調査
		抄録	山下 武雄	特	消毒用噴霧の硫黄の残存と桃缶詰の膨張
2309	1928.09	報文	稲葉 俊	27養	内臓の黒変せる鯉に就いて
		報文	宝来 利一	25製専	摺貝の利用
		報文	宮地 伝三郎		湖底生物研究予報 (4)
		報文	安川 隆	27養	牡蠣の塩素消毒に就いて
		報文	三浦 定之助	17漁	大謀網の三本台と一本台とに就いて
		報文	宝来 利一	25製専	人造「テグス」の製法
		抄録	川口 武男	23製	缶詰内の「バキューム」の作用
2310	1928.10	報文	藤田 正	29漁	夏の神港の海藻に就いて
		報文	山下 武雄	特	節原料としての大羽鰯脂肪含有量に就いて
		抄録	大島 信夫	22養	魚肉の水素「イオン」濃度
2311	1928.11	報文	奥野 忠雄	29養	小鮎の酸素消費と輸送水温
		報文	川本 信之	26養	水中瓦斯測定法
		抄録	深山 義道	14製	亜麻仁油「ニトロセルロースヴァニス」
		抄録	吉村 信吉		水圏の酸素含有量に就いての意見とその呼吸値
		抄録	山下 義雄	特	硝酸塩類の缶の腐蝕に及ぼす影響
2312	1928.12	報文	吉田 秀一	18漁	樺太海湾の鮭鱒流網漁業
		報文	吉村 信吉		落堀 (堤防決潰池沼) の理化学的研究 (予報)
		抄録	青木 林蔵	24製	独逸に於ける漁業法
		抄録	大島 信夫	22養	Fundulus heteroclitus の受精並に未受精卵の酸素消費量の比較研究
		抄録	木村 金太郎	8 製	缶詰食品の細菌検査法と缶詰用器具の清潔法 (1)
2401	1929.01	報文	磯野 泰二	4 養	油類の浮泛に就いて (1)
			中村 四郎	—	

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
2401	1929.01	報文	木村 金太郎	8 製	石花菜及び寒天中に於ける硼酸含有量に就いて
			岡屋 忠治	28製	
			羽部 修	28製	
2402	1929.02	抄録	木村 金太郎	8 製	缶詰食品の細菌検査法と缶詰容器の清潔法 (2)
		報文	宝来 利一	25製専	虹彩真珠の製造方法
		報文	宝来 利一	25製専	珊瑚の漂白と染色
		報文	吉田 格郎		蘭領東印度西部ボルネオの淡水魚の瞥見
		報文	磯野 泰二		油類の浮泛に就いて (2)
		抄録	中村 四郎		
		抄録	加藤 清一郎	20製	戦時及戦後に於ける仏国の冷蔵貨車に就いて
2403	1929.03	抄録	川口 武男	23製	低熱殺菌に於ける熱伝播
		報文	宮地 伝三郎		湖底生物研究予報 (5)
		抄録	岡屋 忠治	28製	缶詰食品の栄養
2404	1929.04	抄録	増淵 佐平		対南洋貿易振興策として最大急務の一たる冷蔵庫の設置に就いて
		報文	佐藤 玄三郎	18養	日本へ移植して意義ある北米合衆国産有用魚介類
		報文	野村 康雄	20製	米国食料品統計目次
		抄録	大島 信夫	22養	鮭 (Oncorhynchus Reta) の産卵週上中の理化学的変化
2405	1929.05	抄録	野口 恭夫	31製	支那桐油の組成 (予報)
		報文	佐藤 玄三郎	18養	日本へ移植せし加州産ストライプトバス (Striped Bass)
		報文	野村 康雄	20製	米国食料品統計 (2)
		抄録	大島 信夫	22養	魚の「メラノフォア」に対する温度の影響
2406	1929.06	報文	佐藤 玄三郎	18養	日本へ移植せし加州産ストライプトバス (Striped Bass)
		報文	藤田 正	29漁	勘察加西岸産貝類 (第2報)
		報文	野村 康雄	20製	米国食料品統計 (3)
		抄録	大島 信夫	22養	太平洋に産する油鯪の生態観察
		抄録	同人		蝌蚪の食餌による池中藻類の査定
2407	1929.07	報文	磯野 泰二	4 養一	魚介類の水中酸素呼吸に就いて
		抄録	中村 四郎		
		報文	宝来 利一	25製専	虹彩真珠の製造法
		報文	宮地 伝三郎		湖底生物研究予報 (6) - 1 (湖底生物による湖沼分類)
		抄録	大島 信夫	22養	鯉及金魚の鰓より排泄される窒素化合物
2408	1929.08	抄録	酒井 懺	25漁	供給水の臭気と味に就いて
		報文	石島 涉	30養	松島湾及其の付近産海藻
		報文	関根 秀三郎	特一	魚肉中の沃度の定量法に就いて
		抄録	霞上 正次郎		
2409	1929.09	報文	宮地 伝三郎		湖底生物研究予報 (6-2)
		報文	磯野 泰二	4 養	海鼠腸の再生に就いて
		報文	木下 虎一郎	27養	紀州の貝類に就いて
		報文	松葉篤弼		食用油脱臭試験及綿実油精製法
		報文	野村 康雄	20製	米国に於ける水産缶詰の需要
		抄録	深山 義道	14製	「マルガリン」「バター」其の他脂肪性食物に含有する「ビタミン」A の測定法
2410	1929.10	報文	畑 久三		魚類の飼育に対する紫外線の影響に就いて (予報)
		報文	村上 芳雄	—	多脂鯉節油分除去法に就いて (第1報)
		抄録	猿谷 九万	28製	
2411	1929.11	抄録	深山 義道	14製	「ピームハウスリクイアー」の分析法
		報文	安川 隆	27養	塩素に依る海水消毒に就いて
		報文	宮地 伝三郎		湖沼の評価
		抄録	山下 利得	25製	「ソジウム」の直接定量法
2412	1929.12	報文	大島 信夫	22養	鰻価格の変動並びに相違に関する若干資料 (1)
		抄録	矢田 操	—	
		報文	木下 虎一郎	27養	紀州に於ける水産に関する口碑俚諺の一部
		報文	高橋 直利	30養	水質と水素「イオン」
		抄録	酒井 懺	25漁	Copper Treatment for algae and after-growth of Organism
		抄録	酒井 懺	25漁	「オゾン」によりて海水を殺菌し其の「オゾン」を用いて汚染された牡蠣を洗清する法
		抄録	酒井 懺	25漁	Effects of Plankton on Bacteria.
2501	1930.01	報文	大島 信夫	22養	鰻価格の変動並に相違に関する若干資料 (2)
		抄録	矢田 操	—	
		報文	梶山 英二	特	鯛卵の孵化器に就いて (附採卵に就)
		抄録	西山 丑三	22養	
		報文	清野 文二		「フィッシュ、ファイラー」に関して
		抄録			

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
2501	1930.01	報文	村上 義威	27養	青森県鮫産海藻に就いて
		抄録	浜名 亀助	22養	海綿とその漁業
2502	1930.02	報文	梶山 英二	特	鯛「ラーバ」飼育完成に就いて
			西岡 丑三	22養	
		報文	藤田 正	29漁	南洋の貝類
		報文	宮地 伝三郎		富士五湖の湖底生物
		抄録	野口 恭夫	31製	油の酸敗
2503	1930.03	報文	浜名 亀助	22養	Enumeratio Algarum Ad. Prefecturae “Kagoshima”
		報文	藤田 正	29漁	「クヌドセン」氏顛倒採水器に就いて
		報文	深山 義道	14製	「ビリヂン」法に依る沃素価測定に就いて
			猿谷 九万	28製	
		報文	熊田 頭四郎	10漁	表面水温自記計に就いて
		抄録	木村 金太郎	8 製	胡瓜及「オリーブ」塩漬の際生ずる Filmy yeast の研究
2504	1930.04	報文	田中 茂穂		魚の習性の研究に就いて
		報文	深山 義道	14製	鮮魚冷蔵輸送試験
			橋爪 友四郎	24製	
		報文	村上 義威	27養	金魚飼養に関する一古文献に就いて
		抄録	阪本 喜代松		カリフォルニア産鰯属の相互の関係及命名
		抄録	野口 恭夫	31製	硫化油の研究
2505	1930.05	報文	太田 知度	18養	紅鰯の池で養殖試験の概要
			石川 広之助	1 養専	
		報文	熊田 頭四郎	10漁	簡易採泥器に就いて
		報文	野口 恭夫	31製	緑鰻魚油の脂肪酸
		抄録	阪本 喜代松		八目鰻類の生活輪廻と成長
2506	1930.06	報文	木下 虎一郎	27養	紀州雑俎
		報文	真瀬 恒	28製	アメリカに於ける鰯の利用
		報文	宮地 伝三郎		日光火山麓諸湖に於ける湖底生物相の発達とその深層の湖底生物非生息地帯
2507	1930.07	報文	猿谷 九万	28製	湖水の簡便化学分析法
			吉村 信吉	—	
		報文	藤田 正	29漁	貝殻利用の一例
		報文	深山 義道	14製	鮪油漬缶詰に関する研究（第1報）
			川口 武男	23製	
		抄録	酒井 徹	25漁	硫酸銅及「クロリン」の生物に及ぼす影響に就いて
2508	1930.08	報文	太田 知度	18養	青木湖に於ける Weight Length Factor に就いて
		報文	堀田 美桜男	25製	鯉節製造の起源に関する古文書
		抄録	酒井 徹	25漁	Mikroskopische untersuchngdes warsers, mit Bezug.
		抄録	酒井 徹	25漁	The microscopy of drinking water George C. Whipple.
2509	1930.09	報文	石嶋 涉	30養	最近サビ亜科 (Meleobesieae) の分類に就いて
		報文	田中 茂穂		魚類分類学と水産との関係
		報文	宝来 利一	25製専	真珠の漂白
		抄録	阪本 喜代松		鮫鰻類に就いて
		抄録	阪本 喜代松		比色的に見たるベラ科の一属 Crenilabrus にあらはれたる皮膚色素の雌雄の別
2510	1930.10	報文	川尻 稔	16養	飼育用水温の急変化が紅鰯稚魚に及ぼす影響に就いて
		報文	木下 虎一郎	27養	田辺湾に産する方言「ヒゲナガエビ」
		報文	酒井 徹	25漁	東京市上水道村山貯水池に発生せる「ペリデニウム」の漂白粉による影響に就いて
			山地 尚	—	
		報文	藤田 正	29漁	貝類の利用 (2)
		抄録	藤田 正	29漁	魚鱗の採集と「プレバート」の作りに就いて
		抄録	小林 茂雄	41養	米国に於ける缶詰食料品の輸入に就いて
2511	1930.11	報文	海老名 謙一	23養	館山湾に於ける「タイドプールフィッシュ」に就いて
			阪本 喜代松	—	
		報文	川尻 稔	16養	餌料の品質が鰯の成長減耗産卵孵化等に及ぼす影響
			畑 久	—	
			三村井 繁	—	
		報文	三浦 定之助	12漁	定置漁業の緊要なる研究問題
		報文	川尻 稔	16養	放養尾数の多少が鰯の成長減耗産卵孵化等に及ぼす影響
			畑 久	—	
2512	1930.12		三村井 繁	—	The microscopy of drinking water (其2)
		抄録	酒井 徹	25漁	
		報文	福岡 国男		魚肉の乳酸に就いて (第1報)
		報文	宮地 伝三郎		余呉湖に於ける湖底生物の出現頻度及びその数量と深さとの関係
			間 直之助		

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
2512	1930.12	報文	川尻 稔	16養	水温、水質の相違が鱒の成長、減耗、産卵、孵化等に及ぼす影響
			畑 久	—	
			三村井 繁	—	
		抄録	岡屋 忠治	28製	ビタミン C の化学的証明に就いて
2601	1931.01	抄録	木下 虎一郎	27養	伊勢蝦類の標識に就いて
		報文	武富 栄一	12漁	北水洋「シベリヤ」海路の探検調査の必要に就いて
		報文	畑 久三		鱒卵及稚児の発育に及ぼす用水の水素「イオン」濃度に就いて
		報文	星野 三郎	特	魚糧製造機械の一斑
		報文	安川 隆	27養	「コレラ」菌代用「ソツチニコフ」氏菌含有海水中に於ける鹹水魚の汚染に就いて
2602	1931.02	報文	金近 義之助	9 伝漁	貯水池の養魚
		報文	猿谷 九万	28製	噴出式「ヒューレット」
		報文	安川 隆	27養	海水と「コレラ」菌とに関する研究
		抄録	浜田 重行	33製	鮭缶詰に生産過剰なし
		抄録	浜名 亀助	22養	鯨の標識計画
		抄録	浜名 亀助	22養	魚体へ文学の彫刻
		抄録	浜名 亀助	22養	独逸の新造「トロール」船
2603	1931.03	報文	松井 佳一	17養	金魚に関する古文献に就いて
		報文	丸川 久俊 安成 一二	7 養 —	毛蟹又は「おほくりがに」Megalopa 及び其の直後幼生に就いて
		報文	高橋 直利	30養	水に就いて
		報文	木下 虎太郎	27養	和歌山県沿岸で用ひらるる釣餌料としての甲殻類若干
2604	1931.04	報文	橋詰 友太郎	30製	天蚕糸管見
		報文	松井 佳一	17養	我国に於ける金魚の伝来に就いて
		抄録	木下 虎一郎	27養	牡蠣採苗器としての Pirtition
		抄録	木俣 正夫	32製	鱈肝油の毒作用
		抄録	木俣 正夫	32製	「ベトリ」皿培養に於ける嫌気性細菌の生長
		報文	猿谷 九万	28製	低温に於ける鯖の肉質の変化と細菌の発育状態
2605	1931.05	報文	日暮 忠	—	青木湖に於ける姫鱒の漁獲試験
			川尻 稔	10養伝	
			畑 久三	—	
		報文	渡辺 一		流水養魚池の水質に就いて
2606	1931.06	報文	塩澤 虎馬雄	21漁	網具分類上に於ける吾智網の位置と各地吾智網の実際
		報文	田中 耕之助	14漁	志野氏簡便航海表解
		報文	畑 久三 下川 秀男		野尻湖に於ける鱒漁獲試験
		抄録	酒井 懺	25漁	「ブロックトラウト」の成長と再生に関する水温の影響
		抄録	木俣 正夫	32製	牛乳の色素に就いて
		抄録	酒井 懺	25漁	清水原生動物の鹹度増加に対する抵抗
		抄録	酒井 懺	25漁	清水原生動物の鹹度増加に対する抵抗
2607	1931.07	報文	大島 信夫	22養	養魚池の異常水質に就いての二、三知見
		報文	木下 虎一郎	27養	伊勢蝦の生態に関する二、三
		報文	見学 栄次郎		缶詰の肉眼鑑定
		報文	藤田 正	29漁	俊鶴丸採集（昭和4年春）の貝類
		報文	川尻 稔	16養	丸沼試験池の養鱒成績
		抄録	高橋 直利	30養	水素「イオン」の決定
		抄録	見学 栄次郎		缶詰の肉眼鑑定
		抄録	見学 栄次郎		缶詰の肉眼鑑定
2608	1931.08	報文	藤田 正	29漁	久六島産「アハビ」の呼吸孔の数と同地特有の水覗き
		報文	矢野 龍雄		マガキの鰓纖毛の活動に就いて
		報文	矢野 龍雄		卵白の凝固に関する一研究
		抄録	木俣 正夫	32製	ジャムに含有する胡蘿蔔の検出
		抄録	木俣 正夫	32製	「つのまた」の新検出法
		抄録	木俣 正夫	32製	細菌芽胞の発芽に及ぼす浸透圧の影響
		抄録	木俣 正夫	32製	寒天斜面培養に於ける細菌のアンモニア生成の検出法
		抄録	真瀬 恒	28製	魚類及獣肉の急速冷凍法
		抄録	真瀬 恒	28製	魚類及獣肉の急速冷凍法
		抄録	真瀬 恒	28製	魚類及獣肉の急速冷凍法
2609	1931.09	報文	木下 虎一郎	27養	文政天保頃の水産動物研究家の書状と手記
		報文	出口 文造		海底調査雑感
		報文	山本 祥吉	13製	水産動物の肉蛋白質並びに体液に関する研究
		抄録	小林 茂雄	41養	熱帯産愛玩魚 Tropical toy fishrs に就いて
		抄録	真瀬 恒	28製	魚類及獣肉の急速冷凍法
2610	1931.10	報文	山本 祥吉	13製	水産動物の肉蛋白質並びに体液に関する研究
		報文	矢野 實	13製	中央市場と収容問題
		報文	齋藤 宗一	32養	白鷹丸南航資料

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
2610	1931.10	抄録	加藤 清一郎	20製	仏蘭西の遠洋漁業
		抄録	木俣 正夫	32製	Phykoerythrin 及 Phykoeyan に就いての一考察
		抄録	小林 茂雄	41養	熱帯産愛玩魚 Tropical toy fishrs に就いて
		抄録	真瀬 恒	28製	魚類及獣肉の急速冷凍法
2611	1931.11	報文	菊池 鶴松	26養	兵庫県下に於ける真鯛洄游状況
		報文	坂本 清代松		「えぼしだい」[Nomeus gronovii (Gmelin)] 日本に分布す
		報文	山本 祥吉	13製	水産動物の肉蛋白質並びに体液に関する研究
		抄録	真瀬 恒	28製	魚類及獣肉の急速冷凍法 (4)
2612	1931.12	報文	かねちか	9 漁伝	九州で捕れた虹鱈に就いて
		報文	矢野 實	13製	中央市場と収容問題 (続)
		報文	山本 祥吉	13製	水産動物の肉蛋白質並びに体液に関する研究 (4)
		抄録	木俣 正夫	32製	軟骨魚類及硬骨魚類の Anseri と Carnosin に就いて
		抄録	木俣 正夫	32製	Laminaria spp の細胞膜成分の性質に就いて
		抄録	木俣 正夫	32製	Arcaia に就いて (現在迄に未知の動物性塩基)
		抄録	真瀬 恒	28製	魚類及獣肉の急速冷凍法 (5)
		抄録	真瀬 恒	28製	魚類及獣肉の急速冷凍法 (5)
3001	1935.07	報文	岡本 清造	特	北海道鯨定置漁業に於ける漁場抵当信用
		報文	柴田 玉城	37養	魚類血液の比較研究
		報文	清水 淳三	18製	フィッシュミール分析の実際について (第5報) 塩分の定量に関する研究
		資料	立野 新光	30養	
		報文	西川 政一		魚価指数と物価指数の動向に就いて
		報文	清水 淳三	18製	フィッシュミール分析の実際について (第6報) 遊離脂肪酸の定量に関する研究
		資料	立野 新光	30養	
		資料	松島 平次郎	25漁	九州西海岸に活動する旗魚、鮪漁船の収入状況
		資料	松原 喜代松	31養	本邦産魚類検索表 (1)
		資料	後藤 豪	23漁	日向水産雑誌 (2)
3002	1935.08	報文	熊凝 武晴	28漁	ウオッカー特許測程器の使用中に生ずる不規則誤差に就いての研究
		報文	庄 悦二	37養	空中に露出せる際の牡蠣の開心腔液及び体液 PH の時間的变化
		報文	清水 淳三	18製	フィッシュミール分析の実際について (第7報) 土砂の定量に関する研究
		資料	立野 新光	30養	
		報文	清水 淳三	18製	フィッシュミール分析の実際について (第8報) 灰分の定量に関する研究
		資料	立野 新光	30養	
		資料	豊田 正謙	33漁	カリフォルニアに於ける鮪漁業
		付録	東 道太郎	8 養	江之島館山及其付近産海藻目録 (改定) (1)
3003	1935.09	付録	松原 喜代松	31養	本邦産魚類検索表 (2)
		報文	岩本 正一	25製	魚類塩蔵中に於ける歩留と加圧との関係
		資料	寺瀬 経夫	35製	
		資料	金井 元	29漁	岩手型鮭テンテン釣
		資料	後藤 豪	23漁	日向水産雑誌
		資料	東 道太郎	8 養	江之島館山及其付近産海藻目録 (改定) (2)
		資料	松原 喜代松	31養	本邦産魚類検索表 (3)
		資料			鯉鮪漁船千勝丸
3004	1935.10	報文	石島 涉	30養	東京湾富津沖より一深海珊瑚の発見
		報文	加藤 精一	33養	魚梯を遡上する魚類の行動に就いて
		報文	金村 秀雄	36漁	朝鮮に於ける重要漁業 (1) 鮫鰯網漁業
		報文	堀 重蔵	20養	米国太平洋岸に於けるマガキの繁殖に就いて
		綜説	山根 揆一	14漁	船の今昔
		資料	福田 博業	36養	水中のシャン化物微量定量法
3005	1935.11	報文	金村 秀雄	36漁	朝鮮に於ける重要漁業 (2) 鯖巾着網漁業
		報文	久保 伊津男	36養	瀬戸内海産甲殻類の俗称に就いて
		報文	平塚 均	30漁	セレベス海に於ける鮪漁況と鮪漁獲上の一考察 (1)
		資料	後藤 豪	23漁	宮崎県に於ける「タイ」漁具及其餌料に就いて
		資料	中村 秀也	33養	日本産魚類の産卵期表
		資料	松原 喜代松	31養	本邦産魚類検索表
		報文	内田 泰二	18養	鹹水養魚地に於ける海苔養殖
3006	1935.12	報文	川名 武	25養	鮪は日本海に於いて産卵す
		報文	平塚 均	30漁	セレベス海に於ける鮪漁況と鮪漁獲上の一考察 (2)
		報文	松生 義勝	16製	鮭鱒街語の研究 (第1報) 所謂「アドヒージョン」並に豆腐に就いて
		資料	小野 豊樹	26製	脂質の分析法 (1)
		資料	佐崎 俊雄		簡便な船位決定計算尺に就いて
		資料	新野 弘	29養	銭洲漁礁の底質概報
		資料	林 茂樹	31養	広島県に於ける特殊漁業
		資料	山根 揆一	14漁	船舶用フルカンカップリングに就いて

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
3101	1936.01	報文	内橋 潔	30養	牡蛎の地方的変異に関する一研究
		報文	田村 健治	特	
			吉原 喜久一	36漁	コールタール染料に就いて (第1報)
		報文	平塚 均	30漁	セレベス海に於ける鮪漁況と鮪漁獲上の一考察 (3)
		資料	小野 豊樹	26製	脂質の分析法 (2)
		資料	梶山 英二	特	鯛の研究
		資料	後藤 豪	23漁	海洋漁船の経営に就いて
3102	1936.02	資料	熊凝 武晴	28漁	漁船及小型船用サルログ
		報文	平塚 均	30漁	
			森田 正一	35漁	セレベス海のキハダマグロ体重体長の相関
		報文	横田 瀧雄	31養	牡蛎の輸卵管纖毛に就いて
		報文	酒向 昇	33漁	東北沖合に於ける秋刀魚魚群に就いて
		綜説	高槻 俊一	25養	牡蛎の消化生理に就いて
		資料	越智 章		マイヤフォーム
		資料	小野 豊樹	26製	脂質の分析法 (3)
		資料	中村 秀也	33養	日本産魚類の産卵期表の追加及訂正
		資料	松原 喜代松	31養	本邦産魚類検索表 (5)
3103	1936.03	報文	稲葉 俊	27養	浜名湖の Chromatium に就いて
		報文	酒向 昇	33漁	岩手県下沿岸水温と米収穫とに関する研究
		報文	清水 淳三	18製	時日経過に依るフィッシュミールの成分に就いて (予報)
		資料	富桵 建造	特	水産講習所低温冷凍装置
		資料	二戸 一磨	36製	冷凍食品の研究 (1)
		資料	松原 喜代松	31養	魚類検索表 (6)
		資料	蒲原 稔治		土佐の底曳網の漁獲する食用魚類
3104	1936.04	資料	後藤 豪	23漁	昭和10年統計を基礎として考察したる日向鮪漁業の作業能率に就いて
		報文	木下 虎一郎	27養	
			平野 義見	34養	
			高橋 武司	一	リシリコンプの発生適温試験
		報文	日下部 台次郎	28養	人工築磯に依る沿岸漁業の振興 (1)
		報文	中井 信隆	16養	
			松井 魁	36養	長野県産巨大鰻に就いて
		報文	長谷川 漸成	37製	蒸煮せる魚肉に対する食塩及び砂糖の浸入の一観察
		報文	福岡 国男	24製	真鱈の製造原料的研究 (1)
		報文	横田 瀧雄	31養	牡蛎の池中養殖に就いて
3105	1936.05	資料	梶山 英二	特	鯛の研究 (2)
		資料	後藤 豪	23漁	昭和10年統計を基礎として考察したる日向鮪漁業の作業能率に就いて (2)
		報文	日下部 台次郎	28養	人工築磯に依る沿岸漁業の振興 (2)
		報文	早栗 操		鱒類の交雑に就いて
		報文	平塚 均	30漁	セレベス海に於ける鮪漁況と鮪漁獲上の一考察 (4)
		報文	福岡 国男	24製	真鱈の製造原料的研究 (2)
		資料	小野 豊樹	26製	脂質の分析法
		資料	東 道太郎	8 養	日本海 (本州沿岸) 産海藻目録
		報文	吉田 裕	26養	沿海州沖合機船底曳網漁場に於て漁獲される魚類に就いて
		報文	中井 信隆	16養	
3106	1936.06		松井 魁	36養	鮎の鱗及び色素の初期発生
		報文	中野 幹雄	38漁	東北地方に於ける鮪延縄漁業
		報文	長谷川 漸成	37製	蛸佃煮の製造に於ける調味成分の浸透
		報文	室伏朋治		芦ノ湖産 DIATOM'S FOSSIL
		報文	酒井 徹	25漁	都市に於ける河川の水質に就いて
		資料	島田 浦	22製	自動電気滴定装置
		資料	日暮 忠	10養伝	新案小型活魚運搬器
		報文	岡田 郁之助	27製	
			福田 博業	36養	褐藻類の沃度含有量に就いて
3107	1936.07		本橋 邦郎	37製	
		報文	川名 武	25養	三方湖群の異常現象に就きて (第1報)
		報文	酒向 昇	33漁	鮭浜上河川津軽石及閉伊川に就いて (予報)
		報文	塩澤 虎馬雄	21漁	東日本に於ける鯉鮪漁船経済船型に関する一考察
		報文	二戸 一磨	36製	鮭鱒類の肝臓酵素に就いて (第1報)
		報文	松井 魁	36養	養殖魚類の成長曲線の研究
		報文	深山 義道	14製	
			猿谷 九万	28製	鯖の左右体側に於ける水分と脂肪に就いて
		資料	浅野 長雄	37養	南洋パラオ近海産魚類目録

巻 号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
3107	1936.07	資料	石島 渉	30養	蘭領東印度（チエビア，ラエラエ，パルマス）三島に於ける採集記
		資料	松下 政雄	36養	ホタルイカ（1）
3108	1936.08	報文	石島 渉	30養	珊瑚藻科の各属相互の系統的関係に就いて
		報文	川名 武	25養	三方湖群の異常現象に就きて（第2報）
		報文	田村 辰馬	29製	鯉肝臓成分の研究（予報）
		報文	吉原 友吉	37製	
		報文	土井 久之	26養	沿海町村に於ける漁業関係の数的調査
		報文	羽部 修	28製	鱈玉粕圧搾用「キリン」(Screw Jack) の性能調査
		報文	吉原 喜久一	36漁	襟裳岬近海に於ける鮪延縄の状況
		報文	福田 博業	36養	褐藻類の沃度含有量に就いて（第2報）
		報文	本橋 邦郎	37製	
		報文	岡田 郁之助	27製	
		資料	鈴木 直辰	16製	不良缶詰の原因
3109	1936.09	報文	明石 博次	22養	山形県溜池養鯉成績の一例
		報文	浅野 長雄	37養	南洋産貝類の付着層に関する一考察
		報文	川名 武	25養	三方湖群の異常現象に就きて（第3報）
		報文	松井 魁	36養	養殖技術査定の一様式に就いて
		報文	深山 義道	14製	塩蔵（立塩）中に於ける鯖の脂肪の変化
		報文	猿谷 九万	28製	
		報文	山本 篤一		蜜柑缶詰の錫量に就いて
		資料	福田 博業	36養	水の定性的試験法（2）
		資料	二戸 一麿	36製	冷凍食品の研究（第2報）
3110	1936.10	報文	岡田 弥一郎	16養	日本産淡水魚の仔魚及び稚魚の形態並に生態的研究（1）
		報文	清石 礼蔵	36養	
		報文	川上 四郎	32養	毛蟹（ <i>Erimacrus isenbeckii</i> (Brandl)）の形態に就きて
		報文	小谷 和夫	27製	海水から分離した寒天分解菌に就いて（予報）
		報文	鷹司 信敬	20養	日光幸湖及湯湖の水産事業に就いて
		報文	二戸 一麿	36製	軟体類，甲殻類のペプシンに依る消化速度（第1報）
		報文	酒井 徹	25漁	銅塩類が動物の発育に及ぼす影響
		資料	福田 博業	36養	水の定性的試験法（2）
		資料	山根 揆一	14漁	D.W1,300噸の大型トロール船に就いて
3111	1936.11	報文	明石 博次	22養	山形県河川に於ける鮭鱒関係漁具に就いて
		報文	川上 四郎	32養	北千島に於ける紅鮭の生態研究
		報文	菊池 鶴松	26養	マフノリ（ <i>Gloipeltis tenax</i> Turn）の移植に関する予報
		報文	田村 健治	特	アルミニウム板に生ずる虫食状腐蝕に就いて（予報）
		報文	深山 義道	14製	糠の添加に依る塩蔵鯖の脂肪に就いて
		報文	猿谷 九万	28製	
		報文	茂木 喜一郎	33養	虹鱒稚魚の投餌量及放養尾数と歩止との関係
		報文	沖崎 健次	—	
		報文	岡田 弥一郎	16養	日本産淡水魚の仔魚及び稚魚の形態並に生態的研究（2）
		報文	清石 礼蔵	—	
		資料	橋本 常隆	特	缶詰の巻締に関する二三の知見
		資料	福田 博業	36養	水の試験法（3）
		資料	山本 正三	37漁	大島産，海藻・魚・貝・蝦蟹類に就いて
		資料	久保 伊津男	36養	スズエビ <i>Leander paucidens</i> (de Haan) に於ける雌雄異形
3112	1936.12	報文	岡部 五郎	38漁	魚群の研究（予報）
		報文	王胎観	38漁専	
		報文	志賀 岩雄	28製	缶の内圧と蓋底の変形量（第1報）
		報文	松生 義勝	16製	鮭鱒缶詰の研究（第2報） 鮭鱒缶詰の検査等級と化学的成分
		報文	会田 時夫	37製	
		報文	白鳥 昌	38製	
		報文	横田 瀧雄	31養	萬石浦の夏期水温に就いて
		報文	岡田 弥一郎	16養	日本産淡水魚の仔魚及び稚魚の形態並に生態的研究（3）
		報文	清石 礼蔵	—	
		資料	橋本 常隆	特	楕円形缶詰の巻締に就いて
3201	1937.01	報文	清石 礼造	36養	人工湖底質の研究（1）
		報文	猿谷 九万	28製	味付缶詰製造の際に於ける調味液の比重及沸騰点の変化
		報文	長谷川 漸成	37製	
		報文	八代 喜代	31漁	縮結に依る網幅の計算に就いて
		報文	山本 祥吉	13製	マイワシの魚質に就いて
		報文	吉田 秀一	18漁	漁具漁法の改良 館山実習場の実験試験（1）
		報文	松生 義勝	16製	鮭鱒缶詰の研究（第3報） 真空度と温度並に時日の経過について（1）

巻号	西暦	カテゴリ	氏名	卒回	題名
3201	1937.01	綜説	黒澤 武雄	35遠	日本近海に於ける抹香鯨
		綜説	福田 博業	36養	水の試験 (4)
		資料	高山 活夫	34養	伊勢湾産貝類に就いて
		資料	池田 兵治		九州地方から獲れたイトヨに就いて
		資料	越智 章	14漁	船舶安定装置に就いて
3202	1937.02	報文	川上 四郎	32養	千島に於ける白鮭 (Oncorhncus Keta) の壮成年令群に就いて
		報文	清石 礼造	36養	人工湖沼底質の研究 (2)
		報文	高山 活夫	34養	浅草海苔の成長並に品質に及ぼす比重の範囲に就いて
		報文	八代 喜代	31漁	縮結に依る網幅の計算に就いて (2)
		報文	吉田 秀一	18漁	漁具漁法の改良 館山実習場の実験試験 (2)
		報文	岡田 郁之助	27製	褐藻類の沃度含有量に就いて (3)
			福田 博業	—	
			本橋 邦郎	37製	
		報文	齋藤 宗一	32養	ヒロ (布哇) ソロモン間横断観測に就いて
		綜説	福田 博業	36養	水の試験法 (5)
		資料	橋本 常隆	特	アドリアンス・シーマーに就いて
		資料	橋本 常隆	特	巻縮機械の製作方法
3203	1937.03	報文	石井 省一郎	26養	海産稚鮎の河川放流成績に就いて
		報文	草間 秀俊	30漁	引張速度が網糸引張試験結果に及ぼす影響
			加藤 重遠	34漁	
		報文	小林 茂雄	41養	海苔ストーブ乾燥試験
			小山 義郎	—	
		報文	清水 淳三	18製	魚粕製造試験 (1)
			立野 新光	30養	
		報文	高山 活夫	34養	伊勢湾沿岸水の消長と海苔豊凶との関係
		綜説	福田 博業	36養	水の試験法 (6)
		資料	成富 信男	34漁	漁獲物の変色, 変質をニッケル鍍金鉄板の助けに於て防ぐ法
		資料	橋本 常隆	特	キャンコシーマーの主要部四ロール, シーミングヘッドに就いて
		報文	清水 亘	27製	薩摩揚げの缶詰と Pork Sausage との分析
3204	1937.04	報文	清水 淳三	18製	魚粕製造試験 (2-3)
			立野 新光	30養	
			里館 健吉	—	
		報文	中村 秀也	33養	活州の構造について
		報文	平原 嘉七		鮭, 鱒, 鱈, 缶詰製造の際に於ける歩留調査
		報文	福岡 国男	24製	真鱈の製造原料的研究
		綜説	福田 博業	36養	水の試験法 (7)
		資料	八代 喜代	31漁	漁撈技術者に便利な計算尺に就いて
		報文	浅野 長雄	37養	トラック諸島の高瀬貝の分布及変異に就いて
		報文	稲葉 伝三郎	28養	ナマコの人工授精に就いて
		報文	川名 武	25養	越前地方ワカメの豊凶と水温並に気象要素との関係
		報文	斉藤 宗一	32養	ソロモン諸島に於ける鮪漁況と海洋調査
3205	1937.05	報文	山本 孝治	31養	孵化用水温の急変が鰹卵孵化に及ぼす影響
		綜説	長谷川 漸成	37製	呈色反応による食用植物油の鑑識
		綜説	福田 博業	36養	水の試験法 (8)
		資料	神谷 尚志		樺太西海岸亜庭湾に於ける最近のイワシ漁業概覧
		報文	立野 新光	30養	フィッシュミール自然発火温度の測定
		報文	富山 哲夫	28養	魚粉及べ粕の飼料的価値
			花田 稔	—	
		報文	二戸 一磨	36製	魚類筋肉色素に就いて
		報文	長谷川 漸成	37製	塩鮭に於ける塩分, 水分及び脂肪の分布
		報文	堀内 直治		落網改良に対する私見
		資料	U. M. 生抄訳		缶詰の出来上る迄 (1)
		資料	岡部 五郎訳	38漁	カリフォルニアの鰹漁獲位置
3206	1937.06	資料	清水 亘	27製	水産調味製品雑録 (1)
		資料	橋本 常隆	特	組合せ式の巻縮検査及調節用具の使用法
		報文	岡田 弥一郎	16養	日本産淡水魚の仔魚及び稚魚の形態並に生態的研究 (6)
			清石 礼造	36養	
		報文	岡本 清造	特	同一水産区域上に於ける多数漁業権存立の一事例
		報文	二戸 一磨	36製	魚類筋肉色素に就いて (第2報) 紅鱒筋肉色素
		報文	福岡 国男	24製	缶詰の瓦斯に就いて (1)
		報文	山本 祥吉	13製	水産動物肉蛋白質並に体液に関する研究 (9)
		報文	小谷 和夫	27製	水中のセルロース分解菌に就いて (予報)

巻 号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
3208	1937.08	報文	小林 茂雄	41養	汚染貝類人工浄化試験（予報）
		報文	田村 健治	特	アルミニウム板に生ずる虫食状腐蝕に就いて（予報第2）
		報文	長谷川 漸成	37製	鯖の立塩漬に於ける水分の移動
		報文	松井 魁 和井内 貞一郎	36養 14養専	姫鰯の生態学的研究（第1報）夏季停滞期の十和田湖に於ける姫鰯の遊泳層、食性及び移動に就いて
		資料	長谷川 漸成	37製	水産工業の副産物
3209	1937.09	報文	岡田 弥一郎 清石 礼造	16養 36養	日本産淡水魚の仔魚及び稚魚の形態並に生態的研究（7）
		報文	菊池 鶴松	26養	海鼠増殖に使用した採苗装置に就いて
		報文	佐崎 俊雄		天文航法計算器の考案に就いて
		報文	田村 辰馬	29製	鯉（Katswonus Vagans）肝臓成分の研究（第1報）
		報文	中村 秀也	33養	活州の構造に就いて（2）龍蝦捕獲及蓄養活州
		報文	松井 魁	36養	湖沼に於ける姫鰯の延縄漁獲試験と私見
		報文	山本 祥吉	13製	水産動物肉蛋白質並に体液に関する研究（10）
		報文	吉田 秀一	18漁	館山実習場の実験試験（3）
		資料	清水 亘	27製	水産調味製品雑録（2）
		資料	高槻 俊一	25養	牡蠣の異常現象の二三に就いて
3210	1937.10	報文	岡田 弥一郎 清石 礼造	16養 36養	日本産淡水魚の仔魚及び稚魚の形態並に生態的研究（8）
		報文	田村 健治	特	缶詰原料洋梨の研究（第1報）
		報文	富山 哲夫	28養	水の微量分析法に関する研究（第1報）酸素、アルカリ度、塩化物の微量容量分析法
		報文	山本 祥吉	13製	水産動物肉蛋白質並に体液に関する研究（11）
		資料	清水 亘	27製	水産調味製品雑録（3）握鮓について
		報文	柴田 玉城	37養	河鰯稚魚の細菌性腸カタル
		報文	遠山 祐三 安川 隆	— 27養	粉状鮮魚エキスの細菌栄養価値に就いて
3211	1937.11	報文	富山 哲夫 渡辺 實	28養 39養	水の微量分析法に関する研究（第2報）水の比色分析用一新携帯比色計の性能に就いて
		報文	深山 義道 猿谷 九万	14製 28製	鯖肉の水分及び脂肪と季節との関係
		資料	小野 豊樹	26製	カナダ産鰹油（pilchard oil）の利用に就いて
		報文	岡田 弥一郎 清石 礼造	16養 36養	日本産淡水魚の仔魚及び稚魚の形態並に生態的研究（9）
		報文	高山 活夫	34養	伊勢湾内のフノリの豊凶と海況並に気象要素との関係
		報文	富山 哲夫 末富 壽樹	28養 39養	水の微量分析法に関する研究（第3報）過マンガン酸加里消費量の一新定量法に就いて
		報文	中村 秀也	33養	活州の構造に就いて（3）供覧用水槽
3212	1937.12	報文	山本 祥吉	13製	水産動物肉蛋白質並に体液に関する研究（12）
		資料	橋本 常隆	特	製缶機械と製缶方法
		報文	諫早 隆夫	29養	北海道春鯊漁況予知資料に対する3年生と5年生鯊群の重要性
		報文	岡田 郁之助 本橋 邦郎	27製 37製	ミドリガキに就いて（第1報）銅の含有量に就いて
		報文	片山 正夫	2専攻	極楽魚と朝鮮鰯との交雑に就いて
		報文	山田 正二郎	39養	小鮎の蓄養中に於ける体重減耗に就いて
		報文	山本 祥吉	13製	水産動物の肉蛋白質並に体液に関する研究
		報文	岡田 郁之助 本橋 邦郎	27製 37製	ミドリガキに就いて（第2報）ポーラログラフに依る銅の定量
		報文	岡田 郁之助 本橋 邦郎	27製 37製	ミドリガキに就いて（第3報）牡蠣中に含まれる銅と海水の銅含有量との関係
		資料	山本 忠	40養	池中施肥について
3301	1938.01	資料	橋本 常隆	特	缶詰機械と製缶方法（2）
		報文	岡田 弥一郎 清石 礼造	16養 36養	日本産淡水魚の仔魚及び稚魚の形態並に生態的研究（10）
		報文	岡本 清造	特	独逸に於ける漁場制度発展の梗概（1）
		報文	鶴田 三郎	32漁	兵庫県南部瀬戸内側に於けるイワシ漁況
		資料	中村 正明抄訳	16養	細角鮫漁業に関する資料
3302	1938.02	報文	岡本 清造	特	独逸に於ける漁場制度発展の梗概（2）
		報文	川名 武	25養	バフンウニの増殖に就いて
		資料	秋月 壽	27製	三重県大淀村に於ける布糊製造に就いて
		資料	橋本 常隆	特	製缶機械と製缶方法（3）
3303	1938.03	報文	岡本 清造	特	独逸に於ける漁場制度発展の梗概（2）
		報文	川名 武	25養	バフンウニの増殖に就いて
		資料	秋月 壽	27製	三重県大淀村に於ける布糊製造に就いて
		資料	橋本 常隆	特	製缶機械と製缶方法（3）

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
3304	1938.04	報文	小野 豊樹	26製	蟹缶詰の臭気缶及び腐敗缶に就いて
		報文	平原 嘉二		昭和十二年度缶詰原料としての紅鮭魚体各部調査
		報文	山本 精二		シラス鰻の水溫低下に対する抵抗と心臓搏動数に就いて
		資料	小野 豊樹	26製	カナダに於ける鮭缶詰の試験成績 (1)
		資料	橋本 常隆	特	缶詰機械と製缶方法 (4)
3305	1938.05	報文	豊田 正謙	33漁	相模湾に於ける鮪縛網漁業
		報文	山本 精二		養殖前後に於けるクルマエビの体長と体重の関係
		綜説	小林 久雄		鮎論
		資料	小野 豊樹	26製	カナダに於ける鮭缶詰の試験成績 (2)
		資料	中村 正明	16養	太平洋北部に於ける鯨の洄游に就いて
3306	1938.06	報文	岡田 郁之助	27製	漁網防腐剤に就いての研究 第1報 コールタールの成分と防腐効力との関係に就いて
			近藤 仁	37漁	
		綜説	小林 久雄		鮎論 (2)
		資料	橋本 常隆	特	缶詰機械と製缶方法 (5)
		報文	志賀 岩雄	28製	缶の内圧と蓋底の変型量 (第2報)
3307	1938.07	報文	松生 義勝	16製	鮭鱒缶詰の研究 第4報 鮭鱒缶詰中の沃土成に就いて
			春元 一能	33製	
		綜説	小林 久雄		鮎論 (3)
		資料	中村 正明	16養	ソ連邦に於ける鮭鱒の塩蔵方法
		資料	中村 正明	16養	ソ連邦の食料品加工上使用し居る食塩に就いて
3308	1938.08	報文	岡田 郁之助	27製	漁網防腐剤に就いての研究 第2報 コールタールの分溜物に就いて
			中山 太郎	38養	
		報文	岡本 清造	特	水産経済学の概念
		報文	小谷 和夫	27製	好気性セルロース分解分離方法に関する一二の考察
		報文	松生 義勝	16製	鮭鱒缶詰の研究 第5報 一般成分分析 (其1)
			春元 一能	33製	
		資料	大島 信夫	22養	鯛漁獲消長の一例
		資料	清水 亘	27製	蟹缶詰肉の Formaldehyde に就いて
3309	1938.09	報文	大沼 豊吉		鮭鱒缶詰の総重量、真空度及び上部空隙に於ける各二者間の相関関係
		報文	岡田 郁之助	27製	漁網防腐剤に就いての研究 第3報 真空圧力を以てコールタールを処理せる時の効果
			仲田 貞雄	—	
		報文	宮地 伝三郎		沿岸水の汚染と底棲群聚
		資料	橋本 常隆	特	缶詰機械と製缶方法 (6)
3310	1938.10	報文	下井 誠	29製	トマトサーデン缶詰の研究 (第1報) 気温と缶内真空度との関係 (その1)
			野口 栄三郎	34製	
		報文	中井 甚二郎	30養	日本近海産マイワシの脊椎骨数と洄游に就いて
		報文	松井 魁	36養	鮎 (Pkecoglossus altivelis T & S) の消化系の発達と食性との関係
		報文	下井 誠	29製	トマトサーデン缶詰の研究 (第2報) 巻締前に於ける缶内温度及缶内容量と真空度との関係
			野口 栄三郎	34製	
3311	1938.11		大岩 文衛	—	
		資料	橋本 常隆	特	缶詰機械と製缶方法 (7)
		報文	浅野 長雄	37養	南洋群島産海鼠 Ganrao (Holothuria sp.) の産卵期に就いて
		報文	松下 政雄	36養	放生津潟に於ける漁業団体と其漁業経営 放流事業の効果と計画漁業
		報文	茂木 喜一郎	33養	食塩水にて洗卵する受精に就いて
		報文	下井 誠	29製	トマトサーデン缶詰の研究 (第3報) トマトサーデン缶詰真空度測定の一方法 (その一)
			野口 栄三郎	34製	
			大岩 文衛	—	
		報文	下井 誠	29製	トマトサーデン缶詰の研究 (第4報) トマトサーデン缶詰真空度測定の一方法 (その二)
			野口 栄三郎	34製	
3312	1938.12		大岩 文衛	—	
		資料	大久保 金三	26製	再製可能な缶
		資料	富永 盛治朗	13漁	墨吐く魚
		報文	木下 虎一郎	27養	北海道産フクロフノリの成熟期に就いて
			渋谷 三五郎	—	
		報文	中井 甚二郎	30養	マイワシ Sardinia melanosticta (T. & S.) の鰓耙の構造と食餌との関係に就いて
		報文	牧 重昂	34漁	南支那海底魚漁場調査
		報文	丸川 久俊	7 養	厄水に就いて
3401	1939.01	資料	松井 魁	36養	養鰻池水並に池底土の農芸方面への利用
		報文	浅野 長雄	37養	高瀬貝の産卵期に就いて
		報文	大村 肇		本邦養殖地理の研究

巻 号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
3401	1939.01	報文	木下 虎一郎 田中 正午	27養 —	北海道海鼠 <i>Stichopus Japonicus</i> SELENKA の食餌に就いて
		報文	下井 誠 野口 栄三郎 大岩 文衛	29製 34製 —	トマトサーゲン缶詰の研究 激動に依る缶の損傷と内容物の状態に就いて (その一)
		資料	吉田 秀一	18漁	海豚沖捕 (突棒) 漁業の新興
3402	1939.02	報文	下井 誠 野口 栄三郎 大岩 文衛	29製 34製 —	トマトサーゲン缶詰の研究 (第6報) 製法に依る品質の相異に就いて (その一)
		報文	松生 義勝 白鳥 昌 宮内 敬三郎	16製 38製 38養	鮭鱒缶詰の研究 (第6報) 真空度と温度並に時日の経過に就いて (2)
		報文	酒向 昇	33漁	太陰の盈虚と揚線網に依る鱈漁獲高の関係
		資料	宮本 秀明	35漁	絹糸網の特徴に就いて
		資料	飯野 良佐	20漁	鼠鯨延縄漁業の経済価値に就いて
		資料	黒沼 勝造	33養	The miscellaneous notes on the flatfishes preserved at the Kominato Marine Biological Station. Chiba Prefecture.
		資料	黒沼 勝造	33養	The miscellaneous notes on the flatfishes preserved at the Kominato Marine Biological Station. Chiba Prefecture.
3403	1939.03	報文	松生 義勝 春元 一能	16製 33製	鮭鱒缶詰の研究 第7報 鮭鱒魚皮の利用に就いて
		報文	松生 義勝 春元 一能 林 巖	16製 33製 —	鮭鱒缶詰の研究 第8報 鮭鱒缶詰中の結晶に就いて
		資料	茂木 喜一郎	33養	給餌機の一考察
		資料	山本 忠	40養	魚食と国民体位
		資料	吉田 秀一	18漁	石投漁業試験
		付録	清水 亘	27製	日本水産動物利用表 (1)
		資料	清水 亘	27製	日本水産動物利用表 (1)
3404	1939.04	報文	中井 甚二郎	30養	朝鮮マイワシ資源の将来を予測する為の二三の資料特に同漁業の濫觴となれる大正12年の大斃死現象と関東大地震, 気象, 海説との関係に就いて
		報文	西村 茂喜	36養	北海道産 <i>Paralomis Multispina</i> (Beuedrct)
		資料	高山 活夫	34養	伊勢蝦標識の一様式に就いて
		資料	浜名 亀助	22養	寶貝堂介類品目
		資料	横田 瀧雄	31養	石花菜に付着せる動物に就いて
3405	1939.05	報文	下井 誠 野口 栄三郎 大岩 文衛	29製 34製 —	トマトサーゲン缶詰の研究 (第7報) トマトサーゲン缶詰の品質と検査等級
		資料	安藤 伊太郎	10養専	鹹水養魚池に於ける水質の一考察
		資料	飯野 良佐	20漁	鼠鯨の洄遊に就いて
		資料	草間 秀俊	30漁	スフ混紡糸の漁網材料としての二三の性質
		資料	小林 久雄	—	鰻の鱗の排列に就いて
3406	1939.06	報文	酒向 昇	33漁	気象と揚線網に依る鱈漁獲高の関係に就いて
		報文	宮本 秀明	35漁	延縄漁具構成に対する一考察
		報文	下井 誠 野口 栄三郎 大岩 文衛	29製 34製 —	肉色と鮮度及び脂肪量との関係
		資料	本部 真之	32漁	ディーゼル機関の燃料消費に就いて 指導船ふさ丸の過去10ヶ年の実績
		資料	末富 壽樹	39養	ヴィスコース式人造絹糸及ステープル・ファイバー製造工場の排水処理に就いて
		資料	末富 壽樹	39養	ヴィスコース式人造絹糸及ステープル・ファイバー製造工場の排水処理に就いて
3407	1939.07	報文	岡田 郁之助 小菅 隆郎	27製 —	漁網防腐剤に就いての研究 (第5報) コールタールの中に含有せらるる硫黄の影響に就いて
		報文	岡田 郁之助 中山 太郎	27製 38養	漁網防腐剤に就いての研究 (第4報) 綿糸に対する紫外線影響に就いて
		報文	菊池 鶴松	26養	長崎県下に於ける龍蝦 <i>Palinurus Japonicus</i> 雌雄の自然生息数に就いて
		報文	高山 活夫	34養	三重県外洋浅海生物に関する研究
		報文	丸川 久俊	7 養	北洋の水塊間及水塊面に現るる植物浮遊生物
		報文	丸川 久俊	7 養	「ぎんだら」に就いて
		報文	本橋 邦郎	37製	蟹缶詰の青変に就いて (1)
		綜説	片山 正夫	2 専攻	魚類の遺伝 (1)
		資料	片山 正夫	2 専攻	超音波応用魚貝類浄化試験報告
		資料	片山 正夫	2 専攻	超音波応用魚貝類浄化試験報告
3408	1939.08	報文	菊池 鶴松	26養	再び真海羅 (<i>Gloiopeltis tenax</i> Turu) の移植に就いて
		報文	本橋 邦郎	37製	蟹缶詰の青変に就いて (2)

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
3408	1939.08	報文	岡田 郁之助 小菅 隆郎	27製 40製	漁網防腐剤に就いての研究（第7報）コールタール処理温度の影響
		報文	岡田 郁之助 中山 太郎	27製 38養	漁網防腐剤に就いての研究（第6報）タール酸の影響に就いて
		報文	下井 誠 野口 栄三郎	29製 34製	トマトサーゲン缶詰の研究（第9報）巻締前に於ける缶内温度及び缶内容量と真空度との関係（其の2）
		綜説	片山 正夫	2 専攻	魚類の遺伝（1）
3409	1939.09	報文	高山 活夫	34養	三重県産フノリ属の成熟期に就いて
		報文	藤本 毅	35漁	甌海峡南方の鮪漁場に就いて
		報文	本橋 邦郎	37製	蟹缶詰の青変に就いて（3）
		報文	山村 弥六郎	33製	物理的に見た魚肉の分解に就いて（1）
		報文	岡田 郁之助 宮崎 千博	27製 38漁	漁網防腐剤に就いての研究（第8報）酸化熱測定に就いて
		報文	岡田 郁之助 中山 太郎	27製 38養	漁網防腐剤に就いての研究（第9報）酸化防止剤に就いて
		報文	下井 誠 野口 栄三郎	29製 34製	トマトサーゲン缶詰の研究（第9報）巻締前に於ける缶内温度及び缶内容量と真空度との関係（其の3）
		綜説	片山 正夫	2 専攻	魚類の遺伝（3）
3410	1939.10	報文	酒向 昇	33漁	犬吠崎を中心とした鯷漁場に就いて（第1報）
		報文	西村 茂喜	36養	タラバガニの人工孵化に就いて
		報文	二戸 一磨 須田 敦 内山 正雄	36製 — —	鯷トマト漬缶詰の瓦斯及金属含量に就いて（第1報）
		報文	丸川 久俊	7 養	再び厄水に就いて
		報文	岡田 郁之助 川口 方一 中澤 一夫	27製 41漁 42漁	漁網防腐剤に就いての研究（第10報） 単寧剤酸化固定法の比較
		報文	岡田 郁之助 小菅 隆郎	27製 40漁	漁網防腐剤に就いての研究（第12報）カッチ代用品としてのコールタール硫酸化物に就いて
		報文	岡田 郁之助 中山 太郎	27製 38養	漁網防腐剤に就いての研究（第11報）カッチ代用品としての合成単寧に就いて
		綜説	片山 正夫	2 専攻	魚類の遺伝（4）
3411	1939.11	報文	中村 守純	38養	内地に蕃殖したカムルチー科魚類
		報文	山本 孝治	31養	卵黄嚢を有するマコガレイ仔魚の発育に及ぼす水温及塩分の影響
		報文	酒向 昇	33漁	犬吠崎を中心とした鯷漁場に就いて（第2報）
		報文	二戸 一磨 須田 敦 内山 正雄	36製 — —	鯷トマト漬缶詰の瓦斯及金属含量に就いて（第2報）
		綜説	片山 正夫	2 専攻	魚類の遺伝（5）
		資料	末富 壽樹	39養	ヴィスコース式人絹（ス・フを含む）工場廢水中の各成分の含有量に対する一考察
3412	1939.12	報文	小野 豊樹 酒巻 守	26製 —	フィッシュミールの品種並に交雑物の鑑定法に就いて（第1報）
		報文	酒向 昇	33漁	犬吠崎を中心とした鯷漁場に就いて（第3報）
		綜説	片山 正夫	2 専攻	魚類の遺伝（6）
		資料	西村 茂喜	36養	北海道及び北千島近海産蝦蟹類
		付録	清水 亘	27製	日本水産動物利用表（2）
3501	1940.01	報文	大村 肇		鉄道輸送に於ける主なる養鰻地帯の出荷量の分布に就いて
		報文	岡本 清造	特	水産製造企業に於ける資本循環の諸問題
		報文	木下 虎一郎 中島 由太郎	27養 特	佐呂間湖に於ける帆立貝及び或種の巻貝仔虫の出現消長に就いて
		報文	倉掛 武雄	37養	全羅南道海苔漁場に於ける潮汐の一瞥
		報文	酒向 昇	33漁	鰯揚線網用網網に就いて
		資料	山本 忠 中村 道之助	40養 —	千葉県夷隅郡下の鰯揚線網漁業に就いて
3502	1940.02	報文	岡本 清造	特	水産製造企業に於ける資本循環の諸問題
		報文	木下 虎一郎 石栗 俊良	27養 40養	北寄貝の生長に就いて
		報文	酒向 昇	33漁	マイワシの脂肪と比重及び脂満度の関係に就いて
		報文	松生 義勝 三橋 賢二	16製 38製	鮭鱒缶詰の研究（第9報）鱒1封度堅缶の所謂スプリングーに就いて（1）

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
3502	1940.02	報文	山本 忠 中村 道之助	40養 —	前年度気象が鰯揚繰網漁獲高に及ぼす影響に就いて
3503	1940.03	報文	大村 肇		本邦養殖地理の研究 第2報 浜名湖岸に於ける養鰻池の分布 (其の1)
		報文	野口 栄三郎	34製	トマトサーズン缶詰の研究 (第10報) 原料鰻に就いて (其の1)
		報文	松生 義勝 三橋 賢二	16製 38製	鮭鰯缶詰の研究 (第9報) 鮭一封度堅缶の所謂「スプリンガー」に就いて (2)
		報文	酒向 昇	33漁	鳶鱒鼻沿岸水温と常総海区鰻漁獲高の関係に就いて
		報文	二戸 一磨 須田 敦	36製 —	鰻トマト漬缶詰の瓦斯及金属含量に就いて (第3報)
3504	1940.04	報文	浅野 長雄	37養	高瀬貝の成長に就いて
		報文	酒向 昇	33漁	東北海区隣接各府県相互の鰻漁獲高に就いて
		報文	高山 活夫	34養	三重県産鰯の成長度に就いて
		報文	中村 秀也	33養	エゾアハビの短期養殖
		報文	松井 魁 嘉成 三郎	36養 43養	魚群体に関する一実験
		報文	松生 義勝 飯島 康司	16製 41製	鮭鰯缶詰の研究 (第10報) 鮭鰯缶詰の凍結に就いて
		資料	土井 久之	26養	鰻漁業に就いて
3505	1940.05	報文	大沼 豊 吉和泉 剛 秋須原 義雄	30製 — —	鮭鰯缶詰総重量の分布と肉詰量に就いて
		報文	大村 肇		本邦養殖地理の研究 (第2報) 浜名湖岸に於ける養鰻地の分布
		報文	佐藤 兼一郎 吉原 英太郎	32製 41製	鮭鰯缶詰の缶内部編変色防止法
		報文	清水 亘	27製	調味に関する研究 (第4報) 酸味食品の組成、特に呈味成分の分布
		資料	松井 魁	36養	諏訪湖産魚類の夏季食性調査
3506	1940.06	報文	木村 肇		本邦養殖地理の研究 (第3報) 伊勢湾西岸に分布する養鰻業の包括的観察 (1)
		報文	久保 清左衛門	38製	鰻皮の鞣製法に就いて
		報文	富山水産会		ホンモロコの生態並びに飼育試験
		報文	和田 英夫	32養	鰻粕の圧搾に就いて
3507	1940.07	報文	越田 秀包	19養	鰻の生態調査と交配試験に就いて
		報文	山口 正夫	44養	ヨメガガサの成長に伴う鰻の形態変化に就いて
		報文	富山水産会		ホンモロコの生態並びに飼育試験 (2)
		報文	木村 肇		本邦養殖地理の研究 (第3報) 伊勢湾西岸に分布する養鰻業の包括的観察 (2)
		報文	和田 英夫	32製	鰻粕の圧搾に就いて
3508	1940.08	報文	大村 肇		本邦養殖地理の研究 (第4報) 福田地方に於ける養鰻業に就いて
		報文	黒沼 勝造	33養	Check list of flat fishes taken by the "Kisan sokobiki" along the pacific coast of Japan from Hokkaido to Kyushu
		報文	越田 秀包	19養	鰻の生態調査と交配試験に就いて (2)
		報文	山村 弥六郎	33製	物理的に見た魚肉の分解に就いて
		報文	吉田 裕	26養	北鮮産有用蟹類の生殖に就いて
3509	1940.09	報文	川本 孝治		鹹度が2.3の淡水魚卵の孵化に及ぼす影響
		報文	松井 魁 嘉成 三郎 松浦 省之 川森 正夫	36養 43養 — —	鯉の薬物に対する反応に就いて
		報文	茂木 喜一郎	33養	最近の稲田養鰻 (其の1)
		資料	黒沼 勝造	33養	タナゴ類の卵の形に就いて
		資料	清水 亘	27製	日本水産動物利用表
		報文	大村 肇		本邦養殖地理の研究 (第5報) 渥美養鰻地帯の代表的養殖地神野新田其他に就いて
3510	1940.10	報文	倉掛 武雄	37養	比重更正計算図表
		報文	茂木 喜一郎	33養	最近の稲田養鰻 (其の2)
		報文	渡邊 實 中江 平雄	39養 —	阿波蛤の砂抜法に就いて
		資料	清水 亘	27製	日本水産動物利用表
		資料	鷹司 信敬	20養	兵児鮎の游泳
		報文	清水 亘	27製	蟹の塩辛の成分及びその温度
		報文	清水 亘 関口 善一郎 長谷川 治郎	27製 40製 40製	蜜柑缶詰の糖度に就いて

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
3511	1940.11	報文	松井 魁	36養	鯉の成長と棲息水域の広狭との関係
		報文	宮本 秀明	35漁	漁網糸の摩擦消耗試験
		資料	山口 正男	44養	千葉県小湊付近の Cellana 属 Patellaida 属及び Siphonaria 属貝類雑記
		資料	渡邊 實 中江 平雄	39養 —	里見漁業協同組合の蛤砂抜法の概要に就いて
		資料	黒沼 勝造	33養	日本水産会鯉船厚生丸のアラスカより獲たるカレイ類雑記
		資料	清水 亘	27製	日本水産動物利用表
3512	1940.12	報文	Kiyomatsu Matsubara		Studies on the Deep-Sea Fishes of Japan XII. On Prof. Nakazawa's Collection of Fishes referable to Isospndyli Iniomi and Allotriognathi
		報文	片田 實	44養	ヒジキの増殖に関する生態態究
		報文	久保 伊津男	36養	カムチャッカ東岸の大鯰に就いて
		資料	清水 亘	27製	日本水産動物利用表
		資料	高島 耀男		小鯉の体長に関する統計的観察
		資料	松井 魁	36養	鮎の孕卵類に就いて
3601	1941.01	資料			北米漁場図
		報文	Kiyomatsu Matsubara		Studies on the Deep-Sea Fishes of Japan XIII. On Prof. Nakazawa's Collection of Fishes referable to Isospndyli Iniomi and Allotriognathi (2)
		報文	松生 義勝 吉津 大四郎 佐野 隼巳	16製 41製 42製	鮭鱒缶詰の研究 (第11報) 鮭鱒缶詰の加熱と骨の硬度に就いて
		報文	宮内 敬三郎 谷 正二	38養 37製	イクラの凍結に就いて
		報文	清水 亘 兵頭 公策 三橋 賢二	27製 — 38製	乾燥法の新しい試み・吸着乾燥法に就いて (第1報)
		附録	清水 亘	27製	日本水産動物利用表
3602	1941.02	報文	Kiyomatsu Matsubara		Studies on the Deep-Sea Fishes of Japan XIII. On Prof. Nakazawa's Collection of Fishes referable to Isospndyli Iniomi and Allotriognathi (3)
		報文	大沼 豊吉	30製	缶詰の検査見本に就いて
		報文	中村 秀也	33養	種苗鮑の輸送後に於ける斃死に就いて
		報文	横田 瀧雄 菅原 兼男	31養 37養	筏式垂下養殖に於ける牡蠣の密度に就いて
3603	1941.03	報文	池永 次郎 梶原 安行 小倉 馨 久木崎 孝	42製 42製 42製 42製	塩鮭製品に関する二三の実験
		報文	黒沼 勝造	33養	アミメハギ Rudarius ercodes Jordan and Fowler の第二次性徴その他
		報文	山内 超一	28製	朝鮮鰯油の比重に就いて
		資料	木下 虎一郎	27養	生鮑の長距離輸送箱
		附録	清水 亘	27製	日本水産動物利用表
3604	1941.04	報文	木下 虎一郎 塩谷 三五郎	27養 —	北海道に於けるテングサの生産状況と主要種ナンブグサの結実及びその性状から観た増殖施設時期に就いての考察
		報文	黒沼 勝造	33養	アミメハギ Rudarius ercodes Jordan and Fowler の第二次性徴その他
		報文	松生 義勝 宮内 敬三郎	16製 38養	冷凍鮭を融解調理せる際に於ける歩留に就いて
3605	1941.05	報文	池末 彌		アサリの成長と環境との関係に就いて
		報文	石原 源太郎	32養	干出式海苔筏養殖法に就いて
		報文	尾谷 茂		千葉県地方に於ける食用あらめ製造法
		資料	黒沼 勝造	33養	北米ワシントン大学水産科を紹介す
		資料	豊田 正謙	33漁	南洋に於ける鮪延縄漁業
		附録	清水 亘	27製	日本水産動物利用表
3606	1941.06	報文	久保 清左衛門	38製	鰯皮の鞣製法に就いて
		資料	川名 武	25養	越前地方水産資料の二、三
3607	1941.07	報文	野澤 泰毅	43養	鯉の鱗の初期発生
		報文	山口 正男	44養	日本産アオメエソ科魚類の研究
		報文	吉田 裕	26養	北鮮有用蟹類の生殖に就いて
		附録	清水 亘	27製	日本水産動物利用表
3608	1941.08	報文	池末 弥	36養	鮎卵及び其の孵化児に及ぼす 2、3 の化学薬品の影響
		報文	黒沼 勝造	33養	日本産鯉科魚類幼魚の記載 (1)
		報文	二戸 一麿	36製	真鰻の含水量と含脂量に就いて
		報文	山口 正男	44養	日本産アオメエソ科魚類の研究 (2)
		附録	清水 亘	27製	日本水産動物利用表

巻 号	西 暦	カテゴリ	氏 名	卒 回	題 名
3609	1941.09	報文	黒沼 勝造	33養	日本産鯉科魚類幼魚の記載 (2)
		報文	末富 壽樹	39養	ヴイスコース式人絹工場廃液の処理限度決定に関する研究 (第1報) 人絹工場廃水の小鮎に及ぼす影響に就いて
		報文	山口 正男	44養	日本産アオメエソ科魚類の研究 (3)
		附録	清水 亘	27製	日本水産動物利用表
3610	1941.10	報文	猪野 峻	38養	磯金に依る鮑の損傷度に就いて
		報文	木下 虎一郎	27養	北海道日高国高底野猿留地方のフクロフノリの豊凶と水温、比重並に気象要素との関係に就いて
		報文	石栗 俊良	40養	本邦産アオメエソ科魚類
		報文	山口 正男	44養	ヴイスコース式人絹工場廃液の処理限度決定に関する研究 (第1報) 人絹工場廃水の小鮎に及ぼす影響に就いて (其の2)
		附録	末富 壽樹	39養	ヴイスコース式人絹工場廃液の処理限度決定に関する研究 (第1報) 人絹工場廃水の小鮎に及ぼす影響に就いて (其の2)
		附録	清水 亘	27製	日本水産動物利用表
3611	1941.11	報文	酒井 懺	25漁	東京市内河川の沈積物中に含まれる硫化水素並に硫化物に就いて (1)
		報文	川口 太	25漁	東京市内河川の沈積物中に含まれる硫化水素並に硫化物に就いて (2)
		報文	松井 魁	36養	養殖生物の生長度の研究 (第2報) 亀の生長に就いて
		報文	山本 孝治	31養	斃死ワカサギの卵及び精子の活力に就いて
		綜説	宇野 道夫	35漁	北支の水産 (2)
3612	1941.12	報文	黒沼 勝造	33養	日本産鯉科魚類幼魚の記載 (3)
		報文	清水 亘	27製	蒲鉾及び其の類似製品の研究 第4報 薩摩揚げに就いて
		報文	濱側清	27製	蒲鉾及び其の類似製品の研究 第4報 薩摩揚げに就いて
		報文	酒井 懺	25漁	東京市内河川の沈積物中に含まれる硫化水素並に硫化物に就いて (2)
		報文	川口 太	25漁	東京市内河川の沈積物中に含まれる硫化水素並に硫化物に就いて (2)
		綜説	宇野 道夫	35漁	北支の水産 (3)
3701	1942.01	附録	清水 亘	27製	日本水産動物利用表
		報文	猪野 峻	38養	千葉県小湊付近の海産貝類相 (1) (第3報) (2)
		報文	鈴木 順	35養	静岡県吉田村地方のシラスアユに就いて
		報文	山本 孝治	31養	斃死アユの卵及び精子の活力に就いて
		報文	木下 虎一郎	27養	北海道日高国高底野猿留地方のギンアンサウの豊凶と水温、比重並に気象要素との関係に就いて
3702	1942.02	報文	石栗 俊良	40養	素との関係に就いて
		綜説	宇野 道夫	35漁	北支の水産 (3)
		報文	木下 虎一郎	27養	根室地方の昆布の豊凶と流水との関係
		報文	鈴木 順	35養	シラス鮎及び瀬河稚鮎の食餌
		報文	田口 喜三郎	37養	缶詰歩留から見た堪察加の紅鮭に就いて
		報文	鶴田 三郎	32漁	駿河湾に於ける桜蝦漁業
3703	1942.03	綜説	宇野 道夫	35漁	北支の水産 (5)
		附録	清水 亘	27製	日本水産動物利用表
		報文	猪野 峻	38養	千葉県小湊付近の海産貝類相 (2)
		報文	松井 魁	36養	水産生物成長度の研究 第3報 淡水飼育に依る鮭稚魚の生長度
		報文	木暮 岳彦	38養	水産生物成長度の研究 第3報 淡水飼育に依る鮭稚魚の生長度
3704	1942.04	綜説	宇野 道夫	35漁	北支の水産 (6)
		報文	田口 喜三郎	37養	流網の流動より見た堪察加鮭鱒沖取漁場の流水に就いて
		報文	藤田 正	29漁	誘蛾灯 (短波光) の養魚利用試験成績に就いて
		報文	早栗 操	29漁	誘蛾灯 (短波光) の養魚利用試験成績に就いて
		綜説	宇野 道夫	35漁	北支の水産 (7)
3705	1942.05	資料	鈴木 順	35養	東京府内湾 (品川湾) 干潟の蟹類
		資料	稲垣 實	41養	東京府内湾 (品川湾) 干潟の蟹類
		報文	池辺 謙三	25漁	パンダ、アラフラ、チモール海鮪漁場調査
		報文	早栗 操	29漁	鮎の生態に関する一部の観察
		報文	山内 謙	28養	鮎の生態に関する一部の観察
3706	1942.06	報文	鈴木 順	35養	東京府内湾振深部の生物分布 (1)
		報文	稲垣 實	41養	東京府内湾振深部の生物分布 (1)
		綜説	宇野 道夫	35漁	北支の水産 (8)
		附録	清水 亘	27製	日本水産動物利用表
		報文	有井 重治	33漁	巨頭 (五島) 鯨漁業
		報文	神崎 隆	31漁	漁場の分類 (1)
		報文	木下 虎一郎	27養	北海道福山地方の海苔の豊凶と水温、気温及び比重との関係、並びに當地方有用海藻豊凶の相互関係に就いて
		報文	石栗 俊良	40養	紅鱒の類脂肪変性症に就いて
		報文	早栗 操		紅鱒の類脂肪変性症に就いて
		資料	清水 亘	27製	日本水産動物利用表
		資料	稲垣 實	41養	海鼠の輸送試験の一例

巻号	西暦	カテゴリ	氏名	卒回	題名
3707	1942.07	報文	早栗 操		本宮川の水棲動物相と虹鱈の食性に就いて
		綜説	宮本 秀明	35漁	分類網漁具名彙集
		資料	木下 虎一郎	27養	スジメの食用
		資料	清水 亘	27製	日本水産動物利用表
3708	1942.08	報文	猪野 峻	38養	千葉県小湊付近の海産貝類相 (3)
		報文	田口 喜三郎	37養	鱧型及年齢組成より見た堪察加半島の紅鮭の系統に就いて
		報文	吉田 裕	26養	北鮮産「わかめ」に就いて
		資料	清水 亘	27製	日本水産動物利用表
		資料	早栗 操		鳥取県に於ける養鱈事業に就いて
		資料	茂木 喜一郎	33養	短波光に依る誘蛾灯の一例
3709	1942.09	報文	神崎 隆	31漁	漁場の分類 (2)
		報文	松井 魁	36養	養殖魚類の生長度の研究 第4報 鯉及び鮒の年齢と体長体重との関係
		報文	吉田 裕	26養	北鮮の海に産する鱈
		綜説	清水 亘	27製	日本水産動物利用表
		綜説	宮本 秀明	35漁	分類網漁具名彙集 (2)
3710	1942.10	報文	猪野 峻	38養	千葉県小湊付近の海産貝類相 (4)
		報文	妹尾 次郎	特	ノコギリエビの吻に就いて
		報文	村上 義威	27養	岩手県に於けるマボヤ (Cynthia roretzi Drasche) の養殖に就いて
3711	1942.11	報文	神崎 隆	31漁	漁場の分類 (3)
		報文	木下 虎一郎	27養	フノリの新養殖法 (追補)
		報文	田口 喜三郎	37養	紅鮭 (Oncorhynchus nerka) と白鮭 (O. keta) の筋子の熟度について
		報文	藤田 正	29漁	琵琶湖に於ける真蝦の移植とその成績に就いて
3712	1942.12	報文	金子 伊喜雄	36製	カムサッカ鮭鱒缶詰工場作業員の体重
		報文	神崎 隆	31漁	漁場の分類 (4)
		資料	熊凝 武晴	28漁	船内廻転式測程儀
		資料	清水 亘	27製	日本水産動物利用表
3801	1943.01	報文	田口 喜三郎	37養	堪察加西岸沖合に現れる流網漁獲の白鮭 (Oncorhynchus Keta) に就いて
		報文	酒井森三郎	26漁	深海漁業試験
			宇野 道夫	35漁	
		資料	宮本 秀明	35漁	分類網漁具名彙集 (3)
3802	1943.02	報文	田口 喜三郎	37養	北千島に來游する白鮭に就いて
		報文	三好 礼治	40製	咸南明太魚肝油の研究 (第1報)
			海安 泰鈍	—	
		報文	金子 伊喜雄	36製	撒塩漬塩魚特に新巻鮭の目減に就いて
3803	1943.03	資料	清水 亘	27製	日本水産動物利用表
		報文	神崎 隆	31漁	漁場の分類 (5)
		報文	千田 喜市	31製	魚体の体重と鮭鱒缶詰の歩留との関係
			金子 伊喜雄	36製	
3804	1943.04	報文	山田 栄次	34養	メンタイの生態調査
		資料	野口 貞美	3 漁専	和船型小型漁船の改造と船虫の食わない船材
		附録	清水 亘	27製	日本水産動物利用表
		報文	妹尾 次郎	特	上野松坂屋別館地下より得られたる化石貝類並びに化石海膽類
3805	1943.05	報文	茂木 喜一郎	33養	稲田養鰯試験
		資料	野口 貞美	3 漁専	和船型小形漁船の改造と船虫の食はない船材
		報文	妹尾 次郎	特	上野松坂屋別館地下より得られたる化石貝類並びに化石海膽類 (2)
		報文	山田 栄次	34養	メンタイの生態調査 (2)
3806	1943.06	報文	矢崎 春夫	38漁	高雄を根拠とする鮭延縄漁場 (1)
		報文	吉田 裕	26養	北鮮に於けるイワシ巾着網漁業の漁況に関する考察
		資料	清水 亘	27製	日本水産動物利用表
		資料	宮本 秀明	35漁	分類網漁具名彙集 (4)
3807	1943.07	報文	滋賀県水産試験場		ツノマタ、粘土、泥藻添加に依る餌料効率の増進に関する試験成績 (1)
		報文	矢崎 春夫	38漁	高雄を根拠とする鮭延縄漁場 (2)
		報文	山口 左仲		日本産魚類外部寄生吸虫の綜説
3808	1943.08	報文	木下 虎一郎	27養	北海道の海藻資源と有用海藻の生態並に増殖の概況
		報文	矢崎 春夫	38漁	高雄を根拠とする鮭延縄漁場 (3)
		報文	滋賀県水産試験場		ツノマタ、粘土、泥藻添加に依る餌料効率の増進に関する試験成績 (2)
3809	1943.09	報文	倉掛 武雄	37養	ヘテロキシンに依る海苔の増収
			加藤 孝	—	
		報文	鶴田 三郎	32漁	ニューギニア方面の船の形態
		報文	三好 礼治	40製	咸南明太魚肝油の研究 (第2報)
3810	1943.10	報文	吉田 秀一	18漁	漁具、漁法と漁業の大系序説 (1)
		報文	田中 小治郎	28養	牡蛎 (板甫、黒姫) の貝殻内の有機物質に就いて

巻 号	西 暦	カテゴリー	氏 名	卒 回	題 名
3810	1943.10	報文	三好 礼治	40製	咸南明太魚肝油の研究 (第2報) (2)
		報文	矢崎 春夫	38漁	高雄を根拠とする鮪延縄漁場 (4)
		資料	山口 左仲		寄生虫 (特に蠕虫) 採集後の処理法
3811	1943.11	報文	久保 伊津男	36養	Diagnosis of a New Species of the Genus penaeus
		報文	三好 礼治	40製	咸南明太魚肝油の研究 (第3報)
		報文	山崎 浩		キサゴ類の生物測定学的研究
		資料	清水 亘	27製	日本水産動物利用表
		資料	山田 橋一	14漁	水産食糧対策としての鰻の増産及食糧化に就いて
3812	1943.12	報文	神埼 隆	31漁	漁場の荒廃
		報文	早栗 操		糸ミミズ使用に依る養鱒餌料の研究
		報文	吉田 秀一	18漁	漁具, 漁法と漁業の大系序説 (2)
		報文	田中 小治郎	38養	牡蛎の貝殻沈殿物に及ぼす鹹度の影響に就いて
		資料	清水 亘	27製	日本水産動物利用表
		資料	宝来 利一	25製専	醋酸ヴィニル樹脂利用紙積層防湿性食品容器
3901	1944.01	報文	木下 虎一郎	27養	帆立貝漁場の構成要素に関する研究 第Ⅱ報 根室湾並に根室近海の帆立貝漁場の潜水調査
			渋谷 三五郎	34養	
			清水 二郎	37養	
		報文	野口 栄三郎	34製	漁網染料としてのオホバモクの利用
		報文	原田 逸男		身欠鰈及びシラウオの吸湿に就いて
			河合 秀男		
		報文	三好 礼治	40製	明太魚 (スケソウダラ) の体長と体重との関係
		報文	山本 孝治	31養	アユ卵及び孵化仔魚の海水鹹分に対する抵抗性
		報文	吉田 秀一	18漁	漁具, 漁法と漁業の大系序説 (3)
		資料	清水 亘	27製	日本水産動物利用表
3902	1944.02	報文	田中 栄次		メンタイの生態調査 (1)
		報文	田中 小治郎	28養	垂下式に依るイワガキの成長度に就いて
		資料	立野 新光	30養	寒天に関する研究
			田村 健二	特	
4001	1950.03	綜述	荻野 珍吉	41養	アミノ酸の化学的定量法 (1)
		綜述	野中 順三九	39製	水産缶詰の化学 (1)
		報文	天野 慶之	36養	二三の水産製品に見られる Struvite に就いて
		報文	稲葉 伝三郎	28養	感光色素のコヒ卵孵化率に対する影響
		報文	荻野 珍吉	41養	小湊産ヒゲキ成分の季節的变化に就いて
		報文	高橋 豊雄	37製	鮫の角質繊維 (金翅) の化学的研究
		報文	天野 慶之	36製	直接滴定による水産食品の塩分簡易定量に就いて
			内野 幸雄	—	
4002	1950.06	綜述	野中 順三九	39製	水産缶詰の化学 (2)
		報文	石山 礼蔵	36養	イワシ類シラスの研究
		報文	田口 喜三郎	37養	標識放流の結果より見た北洋に於ける紅鮭の漁獲率と其の資源に就いて
		報文	吉澤 幹男		採油原としてのカラスザメ及びカスミザメの生物学的研究
		報文	山本 孝治	31養	カレイ類の抱卵数の数例
4003	1950.10	綜述	久保 伊津男	36養	戦時中に於ける魚貝甲殻類に関する研究業績要録 (1) 甲殻類
		綜述	荻野 珍吉	41養	アミノ酸の化学的定量法 (2)
		報文	片田 實	44養	真正紅藻類の発生学的研究 II テングサ目の発生に就いて
		報文	田中 和夫	44製	圧搾操作に関する研究 第1報見掛けの密度を元に締粕内成分の減少を求める計算
4101	1951.12	綜述	野中 順三九	39製	水産缶詰の化学 (3)
		報文	今村 豊	36漁	鯉の夜間生態の研究 (第1報)
		報文	太田 繁	39養	中海, 宍道湖産白魚の第二次性徴並びに魚群系統
		報文	金子 伊喜雄	36製	焼竹輪の焙焼及び冷凍中に於ける温度変化
			西 毅	—	
		報文	神田 献二	45漁	北海道オホーツク海底曳漁場に於ける一, 二の知見
		報文	鈴木 康策	43製	採油方法による鯨油の沃素価の変化
		報文	千葉 卓夫		中海, 宍道湖の湖沼学的研究 (1) 夏期宍道湖のプランクトンに就いて
			小林 歌夫		
		報文	徳井 利信	45養	青森県鷹架沼表面に於ける塩素量の分布に就いて
		報文	増田 与	26製	燻煙及びフオルムアルデヒド処理が塩乾魚に及ぼす影響
		報文	三浦 昭雄	52増	八郎潟産, ワカサギ <i>Hypomesus olidus</i> BREVOORT の魚群系統
		報文	矢吹 耀男	43養	いわし油の酸化に関する研究